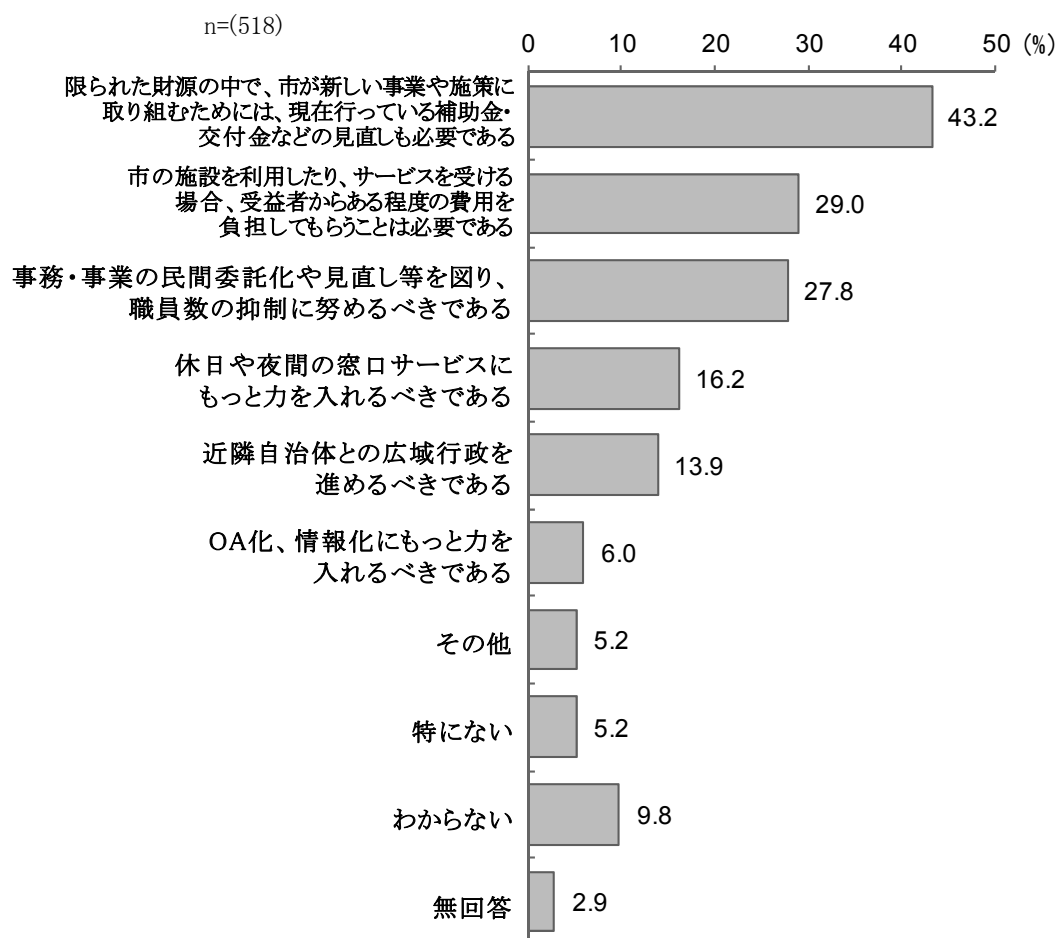


7. 行政改革

今後の行政改革の進め方に対する考えをみると、「限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である」が43.2%で最も多く、以下、「市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である」(29.0%)、「事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである」(27.8%) がつづいている。

問 18 市は、どのような考え方で行政改革を進めたらよいと考えますか。あなたの考えに近いものを、次の中から選んでください。
(○は2つまで)



その他の回答内容	件数
職員、議員の意識改革	6
限られた財源でのムダな出費がないかを見直す	5
市議会議員の定数を減らす。給与を大幅に減らす。	2
行政改革を進める項目を洗い出し、優先順位を決めて重要と思われるものから実施する	2
市民の声が行政に生かされる制度。アンケートの活用・見直し	2
区画整理を縮小する	1
昭島、福生、羽村、瑞穂合併	1
かけ声だけでなく、本当に必要な行革を行う	1
委託業者に全て任せるのではなく、職員が積極的に行う	1
その他	6

前回調査と比較すると、「限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である」(43.2%)が前回(51.4%)から8.2ポイント減少している。「事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである」(27.8%)も前回(34.9%)から7.1ポイント減少している。

【上位4項目】

(%)

	限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である	市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である	事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである	休日や夜間の窓口サービスにもっと力を入れるべきである
今回 (H27)	43.2	29.0	27.8	16.2
前回 (H22)	51.4	29.4	34.9	18.5
前々回 (H17)	45.3	30.7	40.1	24.8

性・年代別にみると、「限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である」は男性50歳代と70歳以上に多くなっている。「市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である」は女性30歳代～40歳代では少なくなっている。「事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである」は男性60歳代が多くなっている。

【上位4項目】

(%)

	N	限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である	市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である	事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである	休日や夜間の窓口サービスにもっと力を入れるべきである
【全体】	518	43.2	29.0	27.8	16.2
【性別】					
男	213	46.9	31.9	28.6	19.7
女	300	39.7	26.7	27.7	13.7
【性・年代別】					
男・20歳未満	3	33.3	★ 0.0	33.3	● 0.0
男・20歳代	13	46.2	23.1	23.1	☆ 38.5
男・30歳代	24	37.5	33.3	■ 16.7	25.0
男・40歳代	40	■ 32.5	30.0	■ 17.5	25.0
男・50歳代	29	○ 58.6	31.0	24.1	□ 31.0
男・60歳代	51	49.0	35.3	□ 39.2	13.7
男・70歳以上	53	□ 54.7	34.0	35.8	9.4
女・20歳未満	3	☆ 66.7	33.3	★ 0.0	○ 33.3
女・20歳代	22	50.0	22.7	18.2	18.2
女・30歳代	33	39.4	● 9.1	30.3	24.2
女・40歳代	52	38.5	■ 17.3	26.9	13.5
女・50歳代	55	49.1	29.1	29.1	20.0
女・60歳代	70	■ 31.4	32.9	27.1	8.6
女・70歳以上	65	36.9	35.4	30.8	■ 6.2

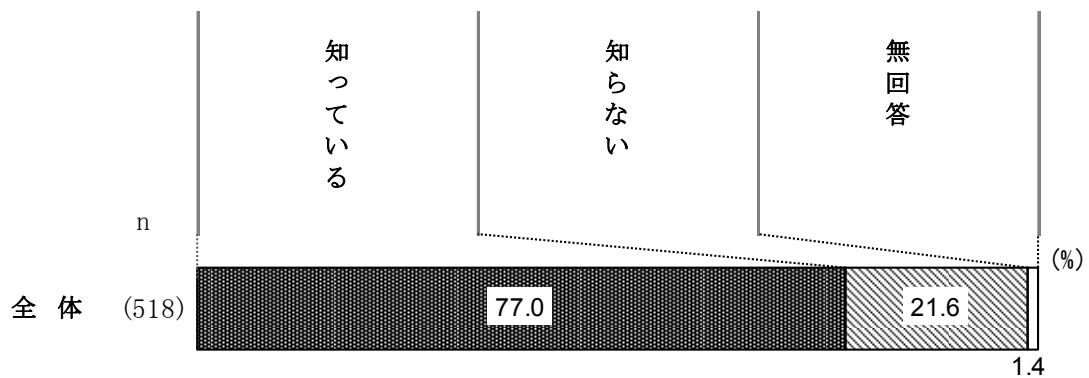
全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

8. 水道事業

(1) 市水道事業の水源の周知度

羽村市の水道事業が市単独の事業であり、水源が地下水100%であることについては、「知っている」が77.0%、「知らない」が21.6%となっている。

問 19 羽村市の水道事業は、昭和 36 年に通水を開始して以来、安全でおいしい水道水の供給に努めています。あなたは、羽村市の水道事業が市単独の事業であり、水源が地下水 100%であることを知っていますか。どちらか 1 つを選んでください。



前回調査と比較すると、「知っている」(77.0%)は、前回(66.5%)に比べて10.5ポイント増加している。

	(%)		
	知っている	知らない	無回答
今回 (H27)	77.0	21.6	1.4
前回 (H22)	66.5	32.3	1.1

性・年代別にみると、「知っている」は男性 30 歳代と 40 歳代で 9 割近くと多くなっている。

(%)

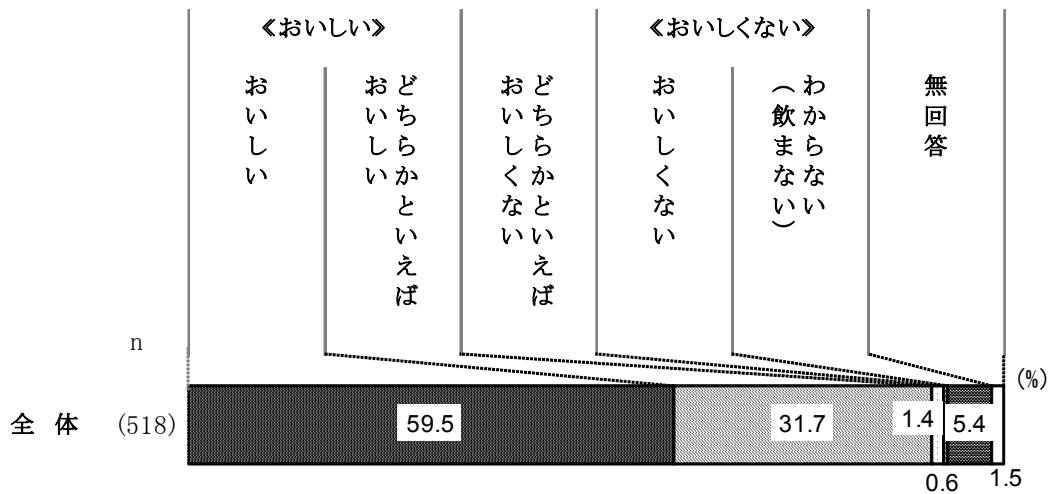
	N	知っている	知らない	無回答
【全体】	518	77.0	21.6	1.4
【性別】				
男	213	78.9	18.8	2.3
女	300	75.7	23.7	0.7
【性・年代別】				
男・20歳未満	3	☆ 100.0	★ 0.0	0.0
男・20歳代	13	● 61.5	○ 38.5	0.0
男・30歳代	24	□ 87.5	12.5	0.0
男・40歳代	40	□ 87.5	■ 10.0	2.5
男・50歳代	29	72.4	20.7	6.9
男・60歳代	51	70.6	27.5	2.0
男・70歳以上	53	83.0	15.1	1.9
女・20歳未満	3	☆ 100.0	★ 0.0	0.0
女・20歳代	22	68.2	□ 31.8	0.0
女・30歳代	33	■ 66.7	□ 33.3	0.0
女・40歳代	52	86.5	13.5	0.0
女・50歳代	55	74.5	25.5	0.0
女・60歳代	70	68.6	28.6	2.9
女・70歳以上	65	81.5	18.5	0.0

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

(2) 市水道水の印象

羽村市の水道水の印象は、「おいしい」が59.5%、「どちらかといえばおいしい」が31.7%で、これをあわせた《おいしい》は91.2%となっている。

問20 羽村市の水道水の印象を、次の中から選んでください。(〇は1つ)



前回調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。

	(%)					
	おいしい	どちらかとい えばおいしい	どちらかとい えばおいしく ない	おいしくない	わからない (飲まない)	無回答
今回 (H27)	59.5	31.7	1.4	0.6	5.4	1.5
前回 (H22)	56.4	34.0	2.4	0.6	5.7	0.9

性・年代別にみても大きな差はみられず、《おいしい》との評価が多数を占めているが、男性 60 歳代と女性 20 歳代～30 歳代は「わからない（飲まない）」が 1 割強みられる。

	N	おいしい	どちらかといえ ばおいしい	どちらかといえ ばおいしくない	おいしくない	わからない (飲まない)	無回答
【全体】	518	59.5	31.7	1.4	0.6	5.4	1.5
【性別】							
男	213	61.0	30.5	0.5	1.4	4.7	1.9
女	300	58.3	32.3	2.0	0.0	6.0	1.3
【性・年代別】							
男・20歳未満	3	☆ 100.0	★ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男・20歳代	13	61.5	30.8	0.0	7.7	0.0	0.0
男・30歳代	24	62.5	25.0	4.2	4.2	4.2	0.0
男・40歳代	40	52.5	□ 42.5	0.0	0.0	2.5	2.5
男・50歳代	29	55.2	41.4	0.0	0.0	0.0	3.4
男・60歳代	51	60.8	25.5	0.0	0.0	11.8	2.0
男・70歳以上	53	67.9	24.5	0.0	1.9	3.8	1.9
女・20歳未満	3	☆ 100.0	★ 0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女・20歳代	22	68.2	■ 18.2	0.0	0.0	13.6	0.0
女・30歳代	33	54.5	33.3	0.0	0.0	12.1	0.0
女・40歳代	52	61.5	26.9	5.8	0.0	5.8	0.0
女・50歳代	55	58.2	38.2	3.6	0.0	0.0	0.0
女・60歳代	70	54.3	32.9	0.0	0.0	7.1	5.7
女・70歳以上	65	56.9	36.9	1.5	0.0	4.6	0.0

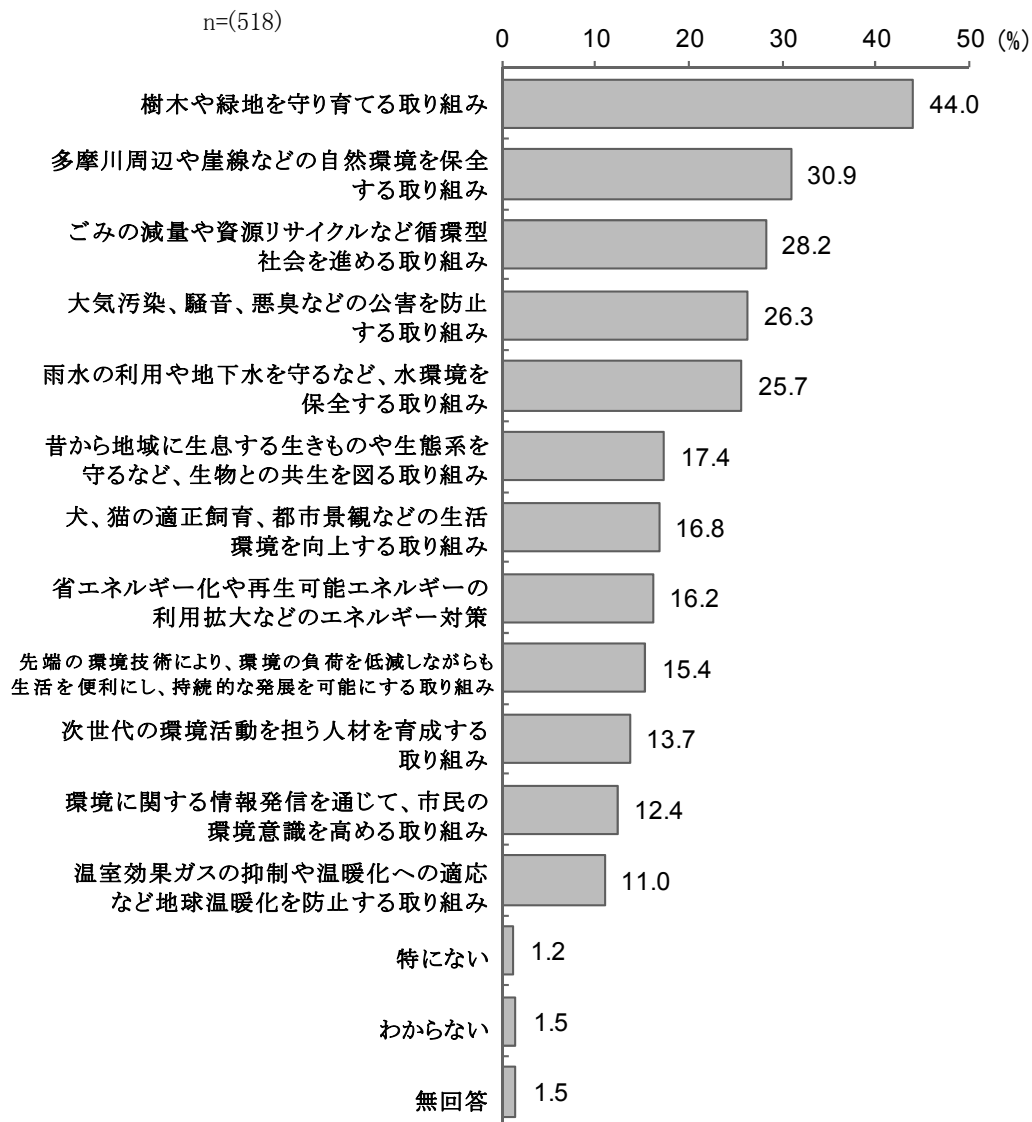
全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

9. 環境

(1) 環境への取り組みとして重点をおくべきもの

環境への取り組みとして重点をおくべきものとしては、「樹木や緑地を守り育てる取り組み」が44.0%で最も多く、以下、「多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取り組み」(30.9%)、「ごみの減量や資源リサイクルなど循環型社会を進める取り組み」(28.2%)、「大気汚染、騒音、悪臭などの公害を防止する取り組み」(26.3%)、「雨水の利用や地下水を守るなど、水環境を保全する取り組み」(25.7%)がつづいている。

問21 市は、環境への取り組みとして何に重点をおくべきだと思いますか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)



性別にみると、「多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取り組み」は男性 39.9%に対し、女性は 24.7%と開きがみられる。

性・年代別にみると、「多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取り組み」は男性 40 歳代で 5 割強と多くなっている。「ごみの減量や資源リサイクルなど循環型社会を進める取り組み」は女性 50 歳代でやや多くなっている。「大気汚染、騒音、悪臭などの公害を防止する取り組み」は男性 30 歳代以下でやや多くなっている。このほか、「昔から地域に生息する生きものや生態系を守るなど、生物との共生を図る取り組み」が女性 30 歳代以下で多くなっている。

【上位9項目】

(%)

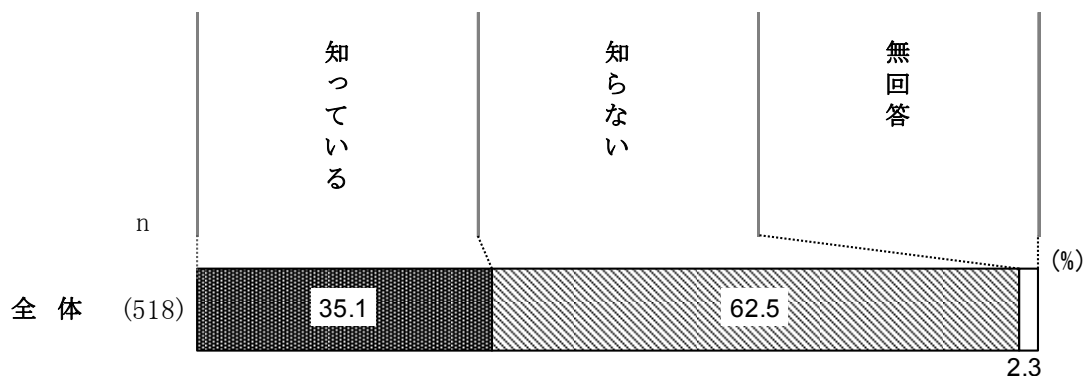
	N	樹木や緑地を守り育てる取り組み	多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取り組み	ごみの減量や資源リサイクルなど循環型社会を進める取り組み	大気汚染、騒音、悪臭などの公害を防止する取り組み	雨水の利用や地下水を守るなど、水環境を保全する取り組み	昔から地域に生息する生きものや生態系を守るなど、生物との共生を図る取り組み	犬、猫の適正飼育、都市景観などの生活環境を向上する取り組み	省エネルギー化や再生可能エネルギーの利用拡大などのエネルギー対策	先端の環境技術により、環境の負荷を低減しながらも生活を便利にし、持続的な発展を可能にする取り組み
【全体】	518	44.0	30.9	28.2	26.3	25.7	17.4	16.8	16.2	15.4
【性別】										
男	213	44.1	39.9	25.8	25.8	25.4	14.6	16.0	15.5	21.6
女	300	44.0	24.7	30.0	26.3	26.0	19.7	17.3	16.7	10.7
【性・年代別】										
男・20歳未満	3	★ 0.0	☆ 66.7	★ 0.0	☆ 66.7	33.3	● 0.0	● 0.0	○ 33.3	● 0.0
男・20歳代	13	38.5	30.8	30.8	□ 38.5	23.1	15.4	7.7	23.1	☆ 46.2
男・30歳代	24	41.7	□ 41.7	■ 16.7	□ 37.5	29.2	16.7	25.0	8.3	16.7
男・40歳代	40	45.0	☆ 52.5	20.0	32.5	22.5	12.5	20.0	10.0	20.0
男・50歳代	29	41.4	□ 44.8	34.5	■ 13.8	31.0	24.1	10.3	17.2	20.7
男・60歳代	51	43.1	29.4	31.4	27.5	19.6	13.7	13.7	17.6	19.6
男・70歳以上	53	50.9	37.7	24.5	■ 15.1	28.3	11.3	17.0	17.0	22.6
女・20歳未満	3	■ 33.3	★ 0.0	☆ 66.7	33.3	33.3	○ 33.3	● 0.0	○ 33.3	● 0.0
女・20歳代	22	50.0	27.3	36.4	27.3	18.2	○ 36.4	18.2	● 0.0	22.7
女・30歳代	33	42.4	24.2	21.2	33.3	18.2	○ 36.4	15.2	15.2	6.1
女・40歳代	52	46.2	23.1	34.6	26.9	26.9	23.1	□ 26.9	15.4	7.7
女・50歳代	55	43.6	25.5	□ 40.0	18.2	27.3	16.4	12.7	21.8	9.1
女・60歳代	70	40.0	25.7	25.7	25.7	32.9	17.1	18.6	22.9	12.9
女・70歳以上	65	46.2	24.6	23.1	29.2	23.1	7.7	13.8	12.3	10.8

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

(2) 「グリーン購入」制度の認知度

「グリーン購入」制度を「知っている」は35.1%と3人に1人強の割合となっている。

問22 エコマーク付き商品など、できるだけ環境負荷の少ない製品を優先的に購入する「グリーン購入」制度について、あなたは知っていますか。どちらか1つを選んでください。



性・年代別にみると、女性20歳代では45.5%が「知っている」としているが、女性30歳代では21.2%と少なくなっている。

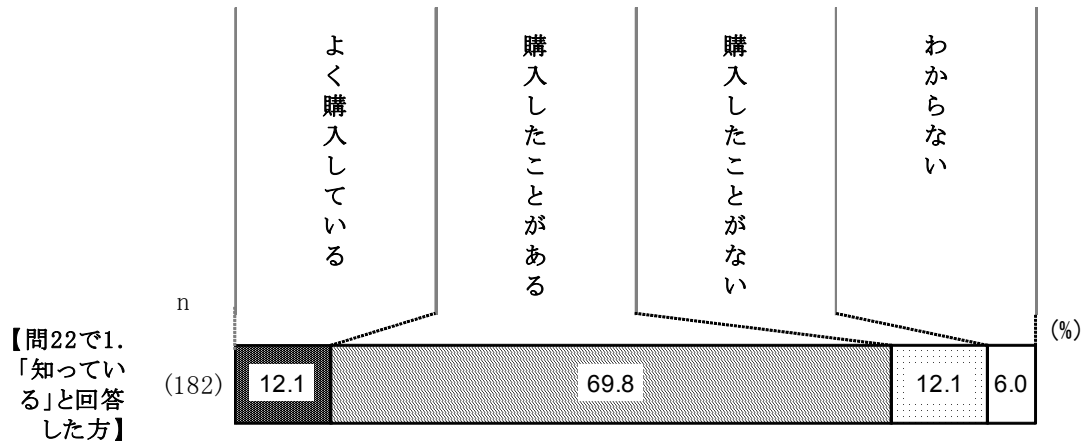
	N	知っている (%)	知らない (%)	無回答 (%)
【全体】	518	35.1	62.5	2.3
【性別】				
男	213	36.6	61.5	1.9
女	300	34.0	63.3	2.7
【性・年代別】				
男・20歳未満	3	☆ 66.7	★ 33.3	0.0
男・20歳代	13	38.5	61.5	0.0
男・30歳代	24	37.5	58.3	4.2
男・40歳代	40	32.5	67.5	0.0
男・50歳代	29	37.9	62.1	0.0
男・60歳代	51	37.3	62.7	0.0
男・70歳以上	53	35.8	58.5	5.7
女・20歳未満	3	33.3	66.7	0.0
女・20歳代	22	□ 45.5	54.5	0.0
女・30歳代	33	■ 21.2	□ 75.8	3.0
女・40歳代	52	32.7	67.3	0.0
女・50歳代	55	38.2	61.8	0.0
女・60歳代	70	35.7	64.3	0.0
女・70歳以上	65	32.3	56.9	10.8

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15~20%高い、□：+10~15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15~20%低い、■：-10~15%低い

(3) 「グリーン購入」の製品の購入状況

「グリーン制度」を「知っている」と回答した人の購入状況を見ると、「よく購入している」(12.1%)と「購入したことがある」(69.8%)とを合わせた《購入率》は81.9%と多数を占めている。

問 22-1 あなたは「グリーン購入」の製品を購入していますか。(〇は1つ)。

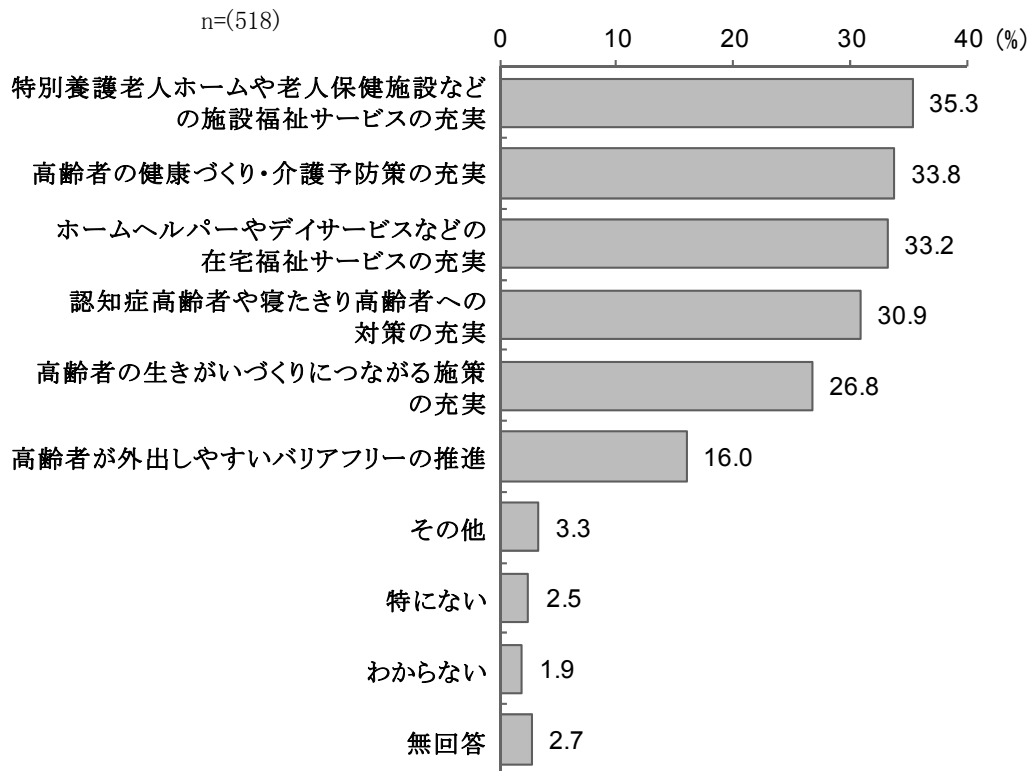


10. 高齢者福祉

(1) 市に力をいれてほしい高齢者福祉施策

市に力をいれてほしい高齢者福祉施策は、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実」(35.3%)、「高齢者の健康づくり・介護予防策の充実」(33.8%)、「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」(33.2%)、「認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実」(30.9%)の4項目が30%台で上位にあげられ、ついで、「高齢者の生きがいがづくりにつながる施策の充実」(26.8%)がつづいており、全体として多様な施策が求められている。

問23 高齢社会を迎え介護保険をはじめ、高齢福祉サービスの充実が求められている中、市に力をいれてほしい施策を、次の中から選んでください。(〇は2つまで)



その他の回答内容	件数
地域ごとにホームや保護施設があり、地域で高齢者を支えていくことができる工夫。安い費用の施設数を増やす。	3
ひとり暮らしの高齢者へのサポート	2
高齢者を抱える家族への支援充実	1
介護福祉士やヘルパーなどの負担軽減	1
高齢者が抱える問題の周知、啓発	1
その他	8

前回調査と比較すると、「高齢者の生きがいがいづくりにつながる施策の充実」(26.8%)は前回(32.9%)から6.1ポイント減少している。

	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実	高齢者の健康づくり・介護予防策の充実	ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実	認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実	高齢者の生きがいがいづくりにつながる施策の充実	高齢者が外出しやすいバリアフリーの推進
今回 (H27)	35.3	33.8	33.2	30.9	26.8	16.0
前回 (H22)	33.5	32.0	34.6	30.1	32.9	15.9

性別にみると、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実」と「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」は男性に比べ女性にやや多くなっている。男性は「高齢者の生きがいがいづくりにつながる施策の充実」をあげる人がやや多くなっている。

性・年代別にみると、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実」は女性 50 歳代～60 歳代、「ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実」は女性 20 歳代～30 歳代で多くなっている。

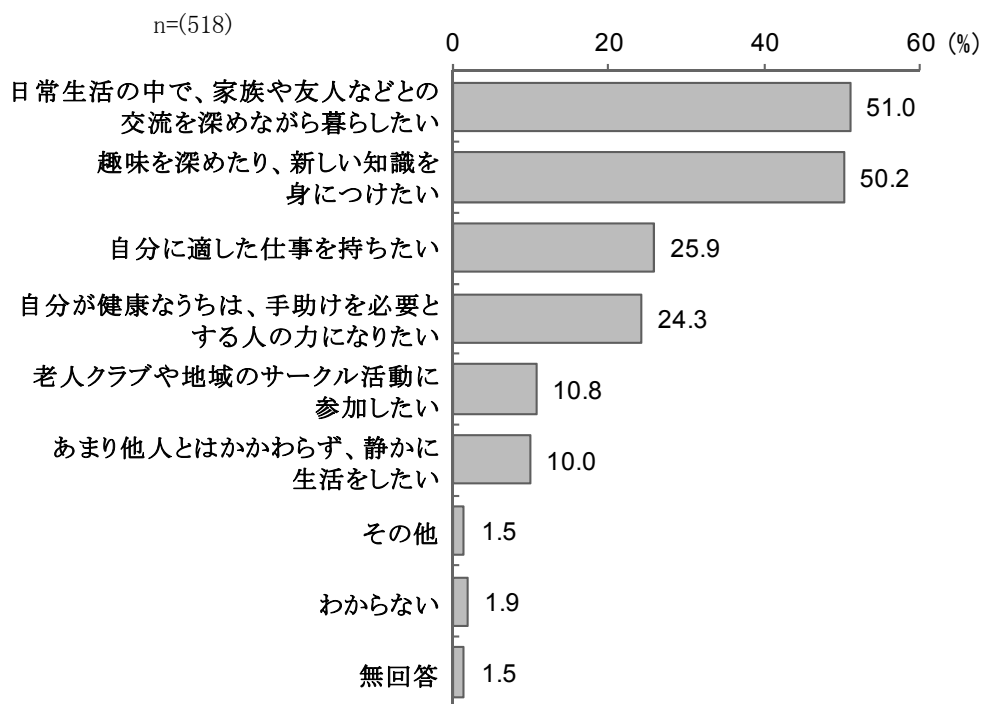
	N	特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実	高齢者の健康づくり・介護予防策の充実	ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実	認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実	高齢者の生きがいがいづくりにつながる施策の充実	高齢者が外出しやすいバリアフリーの推進
【全体】	518	35.3	33.8	33.2	30.9	26.8	16.0
【性別】							
男	213	30.0	36.2	28.2	30.5	31.0	18.3
女	300	38.7	32.3	36.7	31.0	23.7	14.7
【性・年代別】							
男・20歳未満	3	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	☆ 66.7	○ 33.3
男・20歳代	13	30.8	☆ 53.8	■ 23.1	30.8	■ 15.4	□ 30.8
男・30歳代	24	■ 20.8	25.0	29.2	■ 16.7	29.2	25.0
男・40歳代	40	● 20.0	30.0	□ 45.0	25.0	30.0	20.0
男・50歳代	29	■ 24.1	27.6	31.0	31.0	34.5	20.7
男・60歳代	51	37.3	43.1	■ 19.6	37.3	27.5	13.7
男・70歳以上	53	39.6	41.5	24.5	35.8	35.8	13.2
女・20歳未満	3	★ 0.0	33.3	33.3	★ 0.0	☆ 66.7	○ 33.3
女・20歳代	22	36.4	27.3	○ 50.0	■ 18.2	31.8	13.6
女・30歳代	33	30.3	30.3	○ 51.5	33.3	21.2	6.1
女・40歳代	52	36.5	34.6	40.4	36.5	■ 15.4	13.5
女・50歳代	55	□ 45.5	27.3	36.4	29.1	29.1	16.4
女・60歳代	70	□ 47.1	31.4	34.3	30.0	21.4	17.1
女・70歳以上	65	32.3	38.5	24.6	33.8	24.6	15.4

全体値より ☆ : +20%以上高い、○ : +15~20%高い、□ : +10~15%高い
 ★ : -20%以上低い、● : -15~20%低い、■ : -10~15%低い

(2) 老後の暮らし方

老後の暮らし方では、「日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい」(51.0%)と「趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい」(50.2%)が半数を占め、「自分に適した仕事を持ちたい」(25.9%)と「自分が健康なうちは、手助けを必要とする人の力になりたい」(24.3%)が25%前後でつづいている。

問 24 あなたは老後をどのように暮らしていきたいと思いますか。次の中からあなたの考えに近いものを、選んでください。(〇は2つまで)



その他の回答内容	件数
精神的・経済的に自立し、常に前向きな考え方をもちつつ勉強していきたい	1
助けを借りてまで長く生きることを望まない	1
その他	3

性別にみると、「日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい」は女性に、「自分に適した仕事を持ちたい」は男性にやや多くなっている。

性・年代別にみると、「日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい」は女性 60 歳代で 65.7%と特に多くなっている。「自分に適した仕事を持ちたい」は男性 50 歳代、女性 30 歳代で 40%台と多くなっている。

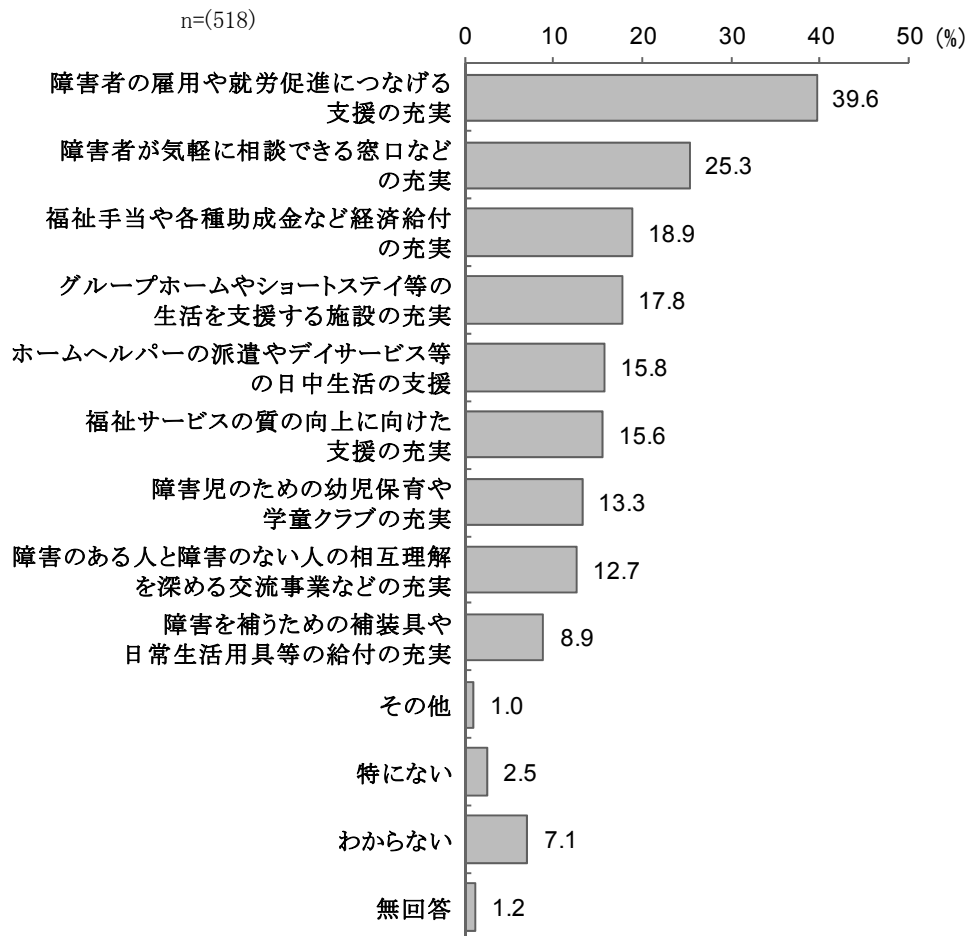
		【上位4項目】				(%)
	N	日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい	趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい	自分に適した仕事を持ちたい	自分が健康なうちは、手助けを必要とする人の力になりたい	
【全体】	518	51.0	50.2	25.9	24.3	
【性別】						
男	213	44.1	52.1	31.5	24.4	
女	300	55.7	49.0	21.7	24.3	
【性・年代別】						
男・20歳未満	3	○ 66.7	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	
男・20歳代	13	■ 38.5	○ 69.2	□ 38.5	15.4	
男・30歳代	24	41.7	41.7	□ 37.5	29.2	
男・40歳代	40	42.5	60.0	□ 37.5	■ 10.0	
男・50歳代	29	41.4	55.2	○ 41.4	17.2	
男・60歳代	51	49.0	47.1	27.5	27.5	
男・70歳以上	53	43.4	47.2	22.6	□ 37.7	
女・20歳未満	3	○ 66.7	● 33.3	★ 0.0	33.3	
女・20歳代	22	50.0	54.5	22.7	27.3	
女・30歳代	33	★ 30.3	45.5	○ 45.5	■ 12.1	
女・40歳代	52	57.7	55.8	28.8	17.3	
女・50歳代	55	58.2	41.8	25.5	30.9	
女・60歳代	70	□ 65.7	45.7	20.0	27.1	
女・70歳以上	65	55.4	53.8	★ 3.1	26.2	

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

1.1. 障害者福祉

今後必要な障害者福祉施策としては、「障害者の雇用や就労促進につなげる支援の充実」が39.6%で最も多く、以下、「障害者が気軽に相談できる窓口などの充実」(25.3%)、「福祉手当や各種助成金など経済給付の充実」(18.9%)、「グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実」(17.8%)「ホームヘルパーの派遣やデイサービス等の日中生活の支援」(15.8%)、「福祉サービスの質の向上に向けた支援の充実」(15.6%) などがつづいており、多岐にわたる施策があげられている。

問25 市として、今後どのような障害者福祉施策が必要とご思いますか。次の中から選んでください。(〇は2つまで)



その他の回答内容	件数
お金がかからないような福祉が望ましい	1
障害の内容状態により利用できるサービスを網羅したわかりやすい資料	1
バリアフリーの道路、ノンステップバスなど	1
その他	2

上位6項目について前回調査と比較すると、大きな差はみられない。

【上位6項目】							(%)
	障害者の雇用や就労促進につなげる支援の充実	障害者が気軽に相談できる窓口などの充実	福祉手当や各種助成金など経済給付の充実	グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実	ホームヘルパーの派遣やデイサービス等の日中生活の支援	福祉サービスの質の向上に向けた支援の充実	
今回 (H27)	39.6	25.3	18.9	17.8	15.8	15.6	
前回 (H22)	37.9	27.9	18.3	17.4	17.9	15.7	

性別にみると、「障害者の雇用や就労促進につなげる支援の充実」は女性に比べ男性に多くなっている。性・年代別にみると、「障害者の雇用や就労促進につなげる支援の充実」は男性 60 歳代でやや多くなっている。「障害者が気軽に相談できる窓口などの充実」は男女とも 70 歳以上で多くなっている。

【上位6項目】							(%)
	N	障害者の雇用や就労促進につなげる支援の充実	障害者が気軽に相談できる窓口などの充実	福祉手当や各種助成金など経済給付の充実	グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実	ホームヘルパーの派遣やデイサービス等の日中生活の支援	福祉サービスの質の向上に向けた支援の充実
【全体】	518	39.6	25.3	18.9	17.8	15.8	15.6
【性別】							
男	213	46.9	27.7	21.1	14.6	13.1	14.1
女	300	34.7	24.0	17.0	19.7	17.7	16.7
【性・年代別】							
男・20歳未満	3	33.3	★ 0.0	● 0.0	● 0.0	● 0.0	○ 33.3
男・20歳代	13	☆ 61.5	☆ 53.8	■ 7.7	■ 7.7	7.7	23.1
男・30歳代	24	41.7	33.3	25.0	12.5	8.3	■ 4.2
男・40歳代	40	45.0	■ 12.5	20.0	10.0	15.0	17.5
男・50歳代	29	48.3	24.1	27.6	24.1	10.3	6.9
男・60歳代	51	□ 52.9	25.5	19.6	17.6	7.8	19.6
男・70歳以上	53	41.5	□ 35.8	22.6	13.2	22.6	11.3
女・20歳未満	3	33.3	33.3	□ 33.3	● 0.0	● 0.0	● 0.0
女・20歳代	22	45.5	22.7	22.7	18.2	■ 4.5	9.1
女・30歳代	33	36.4	■ 12.1	21.2	■ 6.1	□ 27.3	12.1
女・40歳代	52	42.3	■ 11.5	11.5	21.2	19.2	21.2
女・50歳代	55	36.4	20.0	21.8	23.6	23.6	14.5
女・60歳代	70	35.7	28.6	15.7	22.9	14.3	21.4
女・70歳以上	65	● 21.5	□ 38.5	13.8	20.0	15.4	15.4

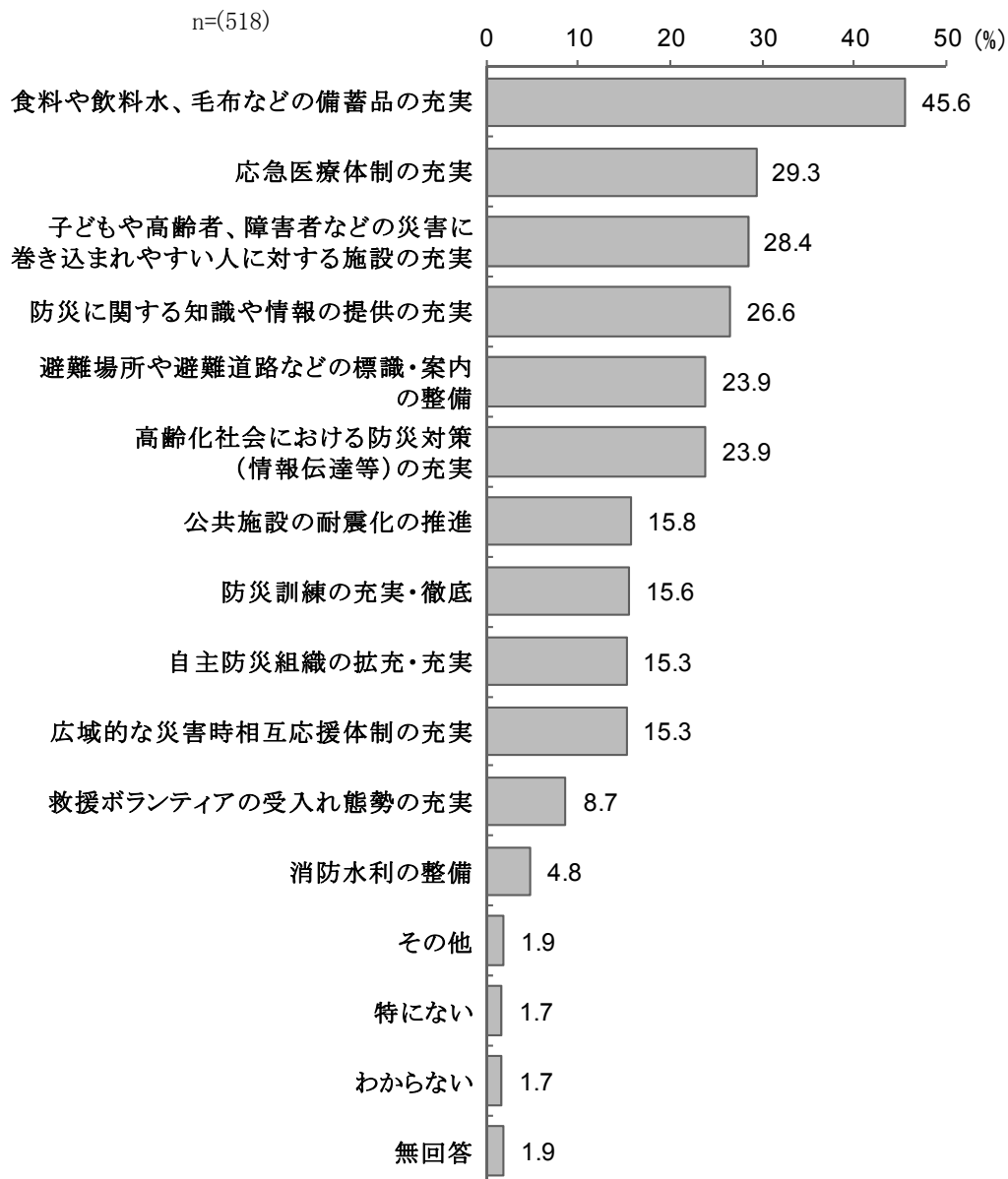
全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

1 2. 防災・防犯対策

(1) 防災対策で重点をおいて進めるべきもの

防災対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきものとしては、「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」が45.6%で最も多く、以下、「応急医療体制の充実」(29.3%)、「子どもや高齢者、障害者などの災害に巻き込まれやすい人に対する施設の充実」(28.4%)、「防災に関する知識や情報の提供の充実」(26.6%)、「避難場所や避難道路などの標識・案内の整備」(23.9%)、「高齢化社会における防災対策(情報伝達等)の充実」(23.9%)が20%台でつづいている。

問26 防災対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものを、次の中から選んでください。(〇は3つまで)



その他の回答内容	件数
災害時に米軍から支援を受ける特別協定等	1
区画整理を進める。袋地を無くす	1
多摩川沿いエリアの大雨、洪水対策	1
避難場所の整備、大災害後に必要となるものの準備（準備金）	1
防災無線の改善	1
ハザードマップで危険となる場所に住居を配置しない	1
その他	3

性・年代別にみると、「食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実」は男性30歳代、女性30歳代～40歳代に多くなっている。「防災に関する知識や情報の提供の充実」は女性20歳代に多くなっている。「避難場所や避難道路などの標識・案内の整備」は男性70歳代以上、「高齢化社会における防災対策（情報伝達等）の充実」は男女の70歳以上に多くなっている。

【上位6項目】

(%)

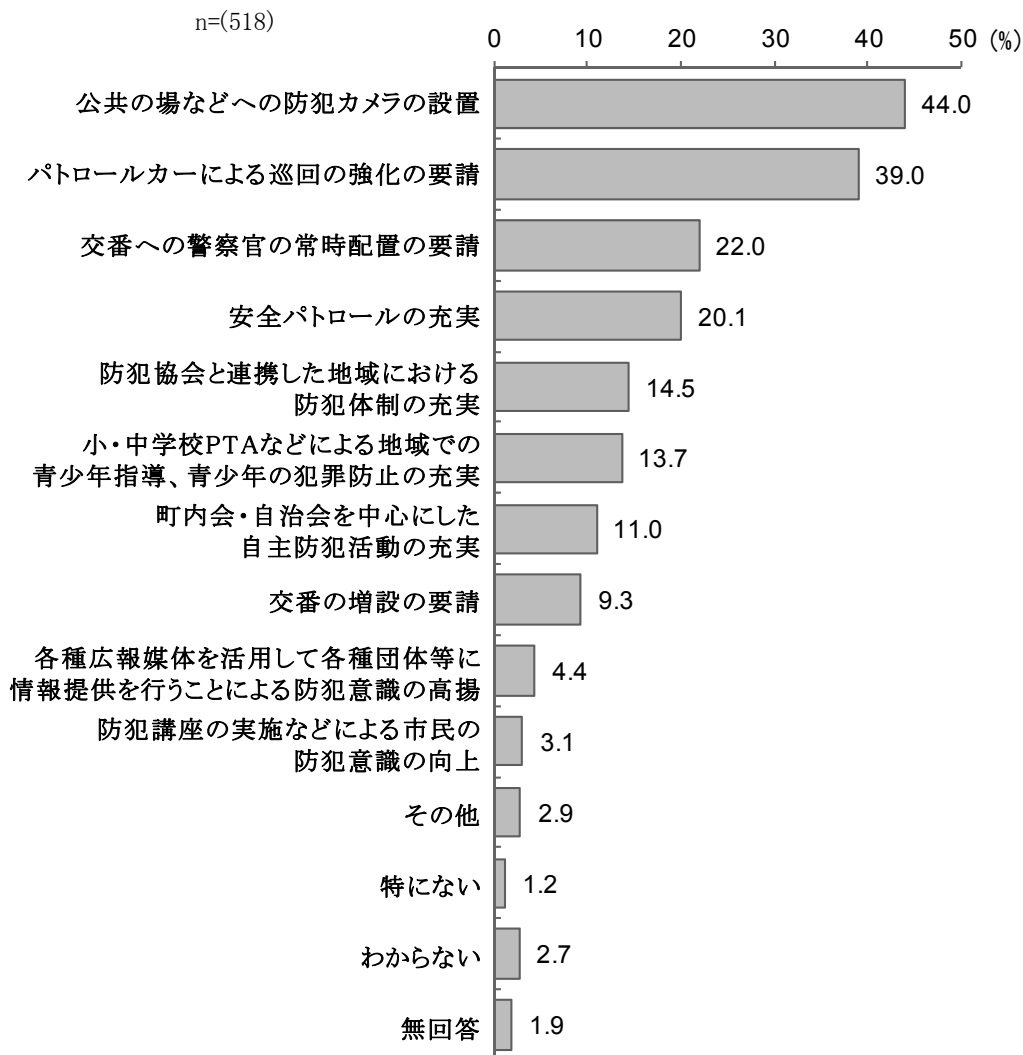
	N	食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実	応急医療体制の充実	子どもや高齢者、障害者などの災害に巻き込まれやすい人に対する施設の充実	防災に関する知識や情報の提供の充実	避難場所や避難道路などの標識・案内の整備	高齢化社会における防災対策（情報伝達等）の充実
【全体】	518	45.6	29.3	28.4	26.6	23.9	23.9
【性別】							
男	213	42.7	31.5	23.9	26.8	27.7	23.5
女	300	48.0	28.3	31.3	26.0	20.7	24.0
【性・年代別】							
男・20歳未満	3	☆ 66.7	33.3	★ 0.0	33.3	33.3	★ 0.0
男・20歳代	13	46.2	38.5	23.1	□ 38.5	☆ 61.5	● 7.7
男・30歳代	24	☆ 66.7	33.3	29.2	16.7	16.7	● 4.2
男・40歳代	40	40.0	35.0	■ 15.0	22.5	30.0	● 5.0
男・50歳代	29	55.2	37.9	37.9	27.6	■ 13.8	20.7
男・60歳代	51	■ 31.4	27.5	21.6	27.5	19.6	31.4
男・70歳以上	53	35.8	26.4	24.5	30.2	□ 37.7	☆ 45.3
女・20歳未満	3	■ 33.3	33.3	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0
女・20歳代	22	54.5	31.8	27.3	□ 40.9	31.8	● 4.5
女・30歳代	33	○ 60.6	36.4	33.3	21.2	18.2	★ 3.0
女・40歳代	52	○ 61.5	28.8	30.8	26.9	17.3	15.4
女・50歳代	55	43.6	23.6	25.5	30.9	16.4	25.5
女・60歳代	70	41.4	30.0	32.9	28.6	22.9	28.6
女・70歳以上	65	40.0	24.6	36.9	16.9	23.1	○ 43.1

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

(2) 防犯対策で重点をおいて進めるべきもの

防犯対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものは、「公共の場などへの防犯カメラの設置」(44.0%)と「パトロールカーによる巡回の強化の要請」(39.0%)の2項目が40%前後で上位にあげられ、「交番への警察官の常時配置の要請」(22.0%)、「安全パトロールの充実」(20.1%)が20%台でつづいている。

問27 防犯対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものを、次の中から選んでください。(〇は2つまで)



その他の回答内容	件数
街灯、防犯灯の充実	5
警察と連携した防犯活動の充実	2
その他	8

性別にみると、「公共の場などへの防犯カメラの設置」と「パトロールカーによる巡回の強化の要請」の上位2項目は女性に多くなっている。

性・年代別にみると、「公共の場などへの防犯カメラの設置」は女性50歳代に多くなっている。「パトロールカーによる巡回の強化の要請」は女性30歳代と女性60歳代に多くなっている。

		【上位4項目】 (%)			
	N	公共の場などへの防犯カメラの設置	パトロールカーによる巡回の強化の要請	交番への警察官の常時配置の要請	安全パトロールの充実
【全体】	518	44.0	39.0	22.0	20.1
【性別】					
男	213	39.0	33.3	23.0	21.1
女	300	48.0	43.0	21.3	19.7
【性・年代別】					
男・20歳未満	3	★ 0.0	★ 0.0	□ 33.3	□ 33.3
男・20歳代	13	53.8	30.8	○ 38.5	□ 30.8
男・30歳代	24	■ 29.2	33.3	29.2	12.5
男・40歳代	40	42.5	30.0	22.5	27.5
男・50歳代	29	34.5	44.8	31.0	17.2
男・60歳代	51	35.3	35.3	13.7	15.7
男・70歳以上	53	45.3	30.2	20.8	24.5
女・20歳未満	3	☆ 100.0	★ 0.0	★ 0.0	★ 0.0
女・20歳代	22	50.0	40.9	22.7	13.6
女・30歳代	33	■ 33.3	□ 51.5	15.2	27.3
女・40歳代	52	46.2	40.4	17.3	19.2
女・50歳代	55	□ 56.4	34.5	□ 32.7	■ 7.3
女・60歳代	70	48.6	□ 51.4	18.6	20.0
女・70歳以上	65	46.2	41.5	21.5	29.2

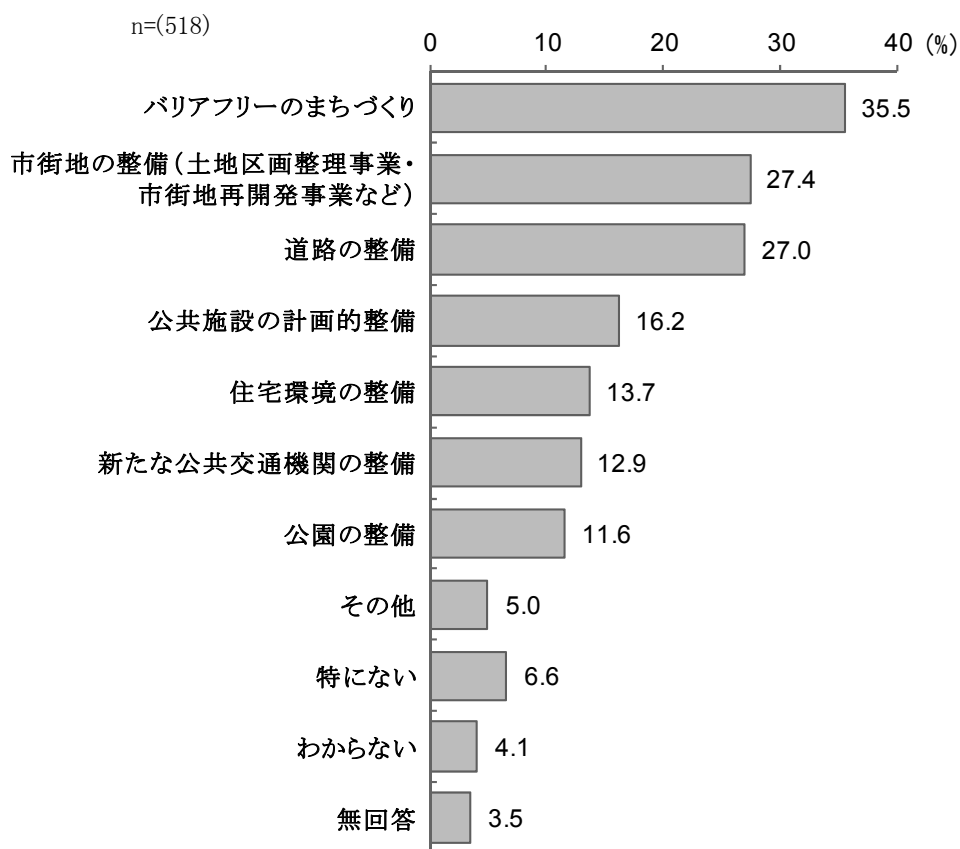
全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

1.3. 都市基盤

(1) 市の都市基盤整備に望むこと

今後の羽村市の都市基盤の整備に望むこととしては、「バリアフリーのまちづくり」が35.5%で最も多く、ついで、「市街地の整備（土地区画整理事業・市街地再開発事業など）」（27.4%）と「道路の整備」（27.0%）の2項目が30%弱でつづいている。

問28 今後、羽村市の都市基盤の整備をどのように望みますか。次の中から選んでください。（〇は2つまで）



その他の回答内容	件数
はむらんの増便	4
既存施設の整備	3
街灯を増やし、安全な都市道路（道ではなく道に付随する設備の向上）	2
地産地消ができるしくみ作り	2
安心して自転車に乗れる道路、自転車の専用レーン	2
現在の環境を活かした修復的、持続可能なまちづくり	2
多摩川や緑を生かしたまちづくり	2
区画整理事業を縮小し、早期実現	1
自然を生かした歩道の整備	1
その他	7

性別にみると、「バリアフリーのまちづくり」は男性より女性に多くなっている。

性・年代別にみると、「バリアフリーのまちづくり」は女性 50 歳代に多くなっている。

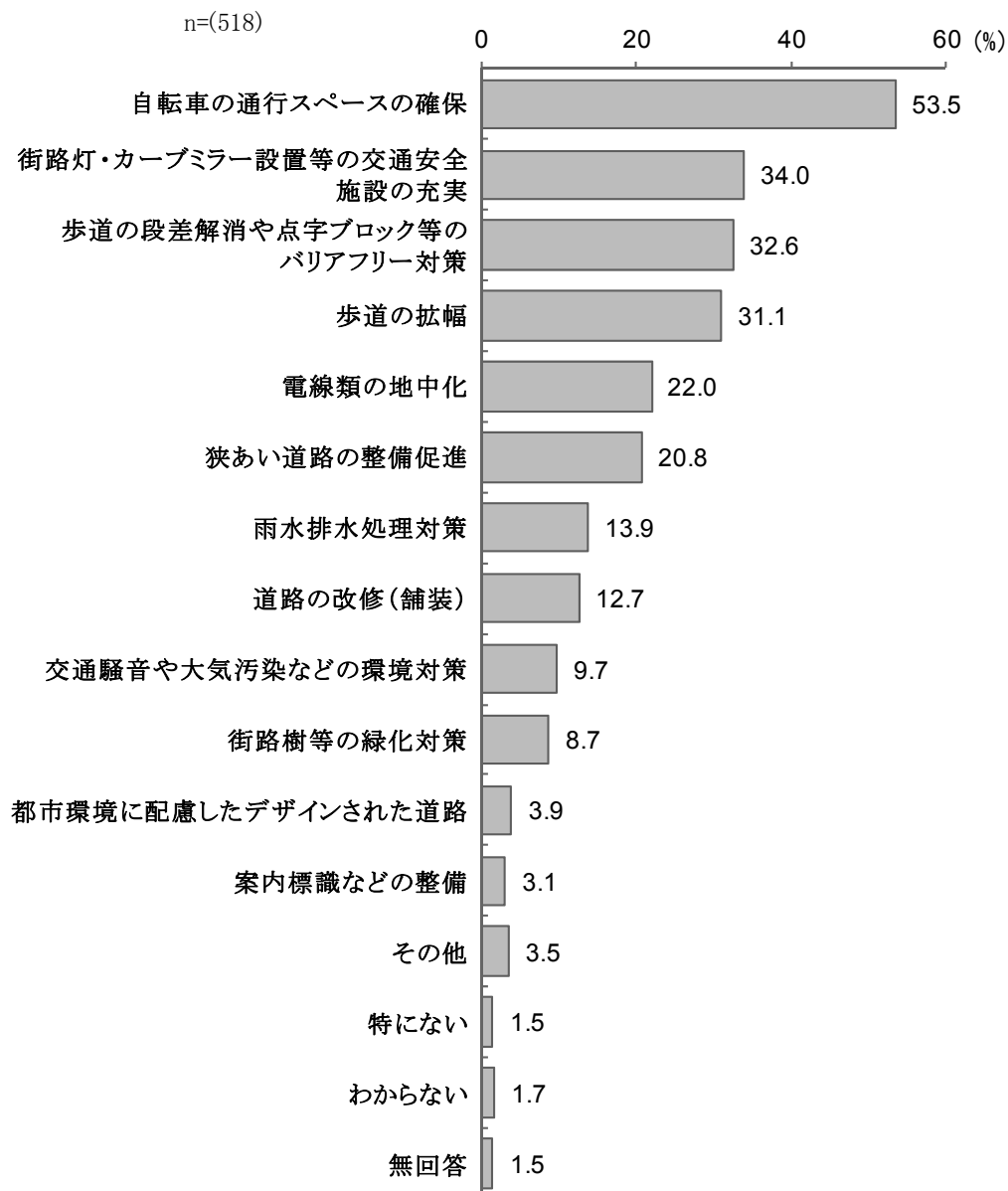
		【上位4項目】				(%)
	N	バリアフリーの まちづくり	市街地の整備 (土地区画整理 事業・市街地再 開発事業など)	道路の整備	公共施設の計 画的整備	
【全体】	518	35.5	27.4	27.0	16.2	
【性別】						
男	213	30.0	31.5	27.7	18.3	
女	300	40.0	24.3	26.7	15.0	
【性・年代別】						
男・20歳未満	3	33.3	33.3	33.3	○ 33.3	
男・20歳代	13	■ 23.1	○ 46.2	○ 46.2	15.4	
男・30歳代	24	■ 25.0	20.8	29.2	■ 4.2	
男・40歳代	40	32.5	25.0	22.5	20.0	
男・50歳代	29	37.9	31.0	34.5	□ 27.6	
男・60歳代	51	■ 23.5	35.3	21.6	13.7	
男・70歳以上	53	34.0	34.0	28.3	22.6	
女・20歳未満	3	☆ 66.7	★ 0.0	★ 0.0	● 0.0	
女・20歳代	22	31.8	27.3	36.4	13.6	
女・30歳代	33	■ 24.2	27.3	27.3	15.2	
女・40歳代	52	42.3	21.2	30.8	11.5	
女・50歳代	55	□ 47.3	30.9	27.3	16.4	
女・60歳代	70	41.4	24.3	18.6	15.7	
女・70歳以上	65	40.0	20.0	29.2	16.9	

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15~20%高い、□：+10~15%高い
★：-20%以上低い、●：-15~20%低い、■：-10~15%低い

(2) 市の道路整備で優先すべきもの

今後、市の道路整備で優先すべきことは、「自転車の通行スペースの確保」が53.5%で最も多く、ついで、「街路灯・カーブミラー設置等の交通安全施設の充実」(34.0%)、「歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策」(32.6%)、「歩道の拡幅」(31.1%)が30%台でつづいている。

問29 今後、市の道路整備について何を優先すべきですか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)



その他の回答内容	件数
防犯カメラ設置、街路灯	3
街路樹等の管理	3
西口区画整理	1
路駐を無くすための駐車場の確保	1
その他	11

性・年代別にみると、「自転車の通行スペースの確保」は女性 40 歳代に多くなっている。他の項目については、あまり大きな差はみられない。

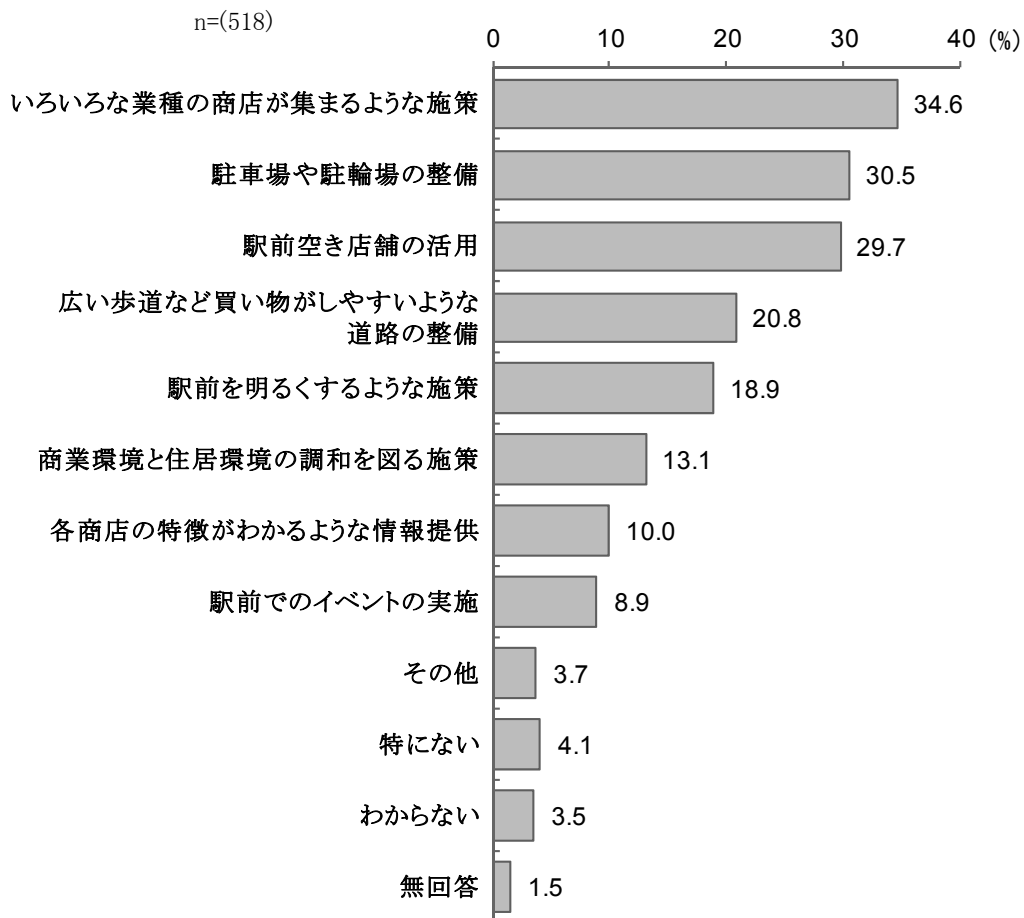
【上位6項目】		(%)					
	N	自転車の通行スペースの確保	街路灯・カーミラー設置等の交通安全施設の充実	歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策	歩道の拡幅	電線類の地中化	狭あい道路の整備促進
【全体】	518	53.5	34.0	32.6	31.1	22.0	20.8
【性別】							
男	213	51.6	30.0	29.6	33.3	26.3	19.2
女	300	55.0	36.7	35.3	30.0	19.3	22.0
【性・年代別】							
男・20歳未満	3	☆ 100.0	☆ 66.7	33.3	33.3	★ 0.0	★ 0.0
男・20歳代	13	53.8	□ 46.2	30.8	● 15.4	30.8	15.4
男・30歳代	24	■ 41.7	33.3	25.0	33.3	20.8	16.7
男・40歳代	40	47.5	● 17.5	32.5	40.0	27.5	22.5
男・50歳代	29	44.8	31.0	31.0	27.6	27.6	17.2
男・60歳代	51	52.9	35.3	23.5	35.3	31.4	21.6
男・70歳以上	53	58.5	26.4	34.0	34.0	22.6	18.9
女・20歳未満	3	★ 0.0	33.3	33.3	☆ 66.7	★ 0.0	★ 0.0
女・20歳代	22	45.5	40.9	31.8	22.7	22.7	18.2
女・30歳代	33	57.6	30.3	33.3	30.3	18.2	18.2
女・40歳代	52	□ 63.5	40.4	34.6	32.7	15.4	15.4
女・50歳代	55	58.2	34.5	30.9	34.5	14.5	23.6
女・60歳代	70	55.7	38.6	40.0	22.9	25.7	21.4
女・70歳以上	65	49.2	35.4	36.9	32.3	20.0	□ 30.8

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

(3) まちの活性化のために必要な施策

今後、活力に満ちた賑わいのあるまちを目指すため、羽村・小作両駅・市役所通り周辺に必要な施策としては、「いろいろな業種の商店が集まるような施策」(34.6%)、「駐車場や駐輪場の整備」(30.5%)、「駅前空き店舗の活用」(29.7%)の3施策が3割前後で上位にあげられている。ついで、「広い歩道など買い物がしやすいような道路の整備」(20.8%)、「駅前を明るくするような施策」(18.9%)の2施策が2割前後でつづいている。

問30 今後、活力に満ちた賑わいのある街を目指すため、羽村・小作両駅・市役所通り周辺に必要な施策を、次の中から選んでください。(〇は2つまで)



その他の回答内容	件数
若者から高齢者が楽しめる商業施設の整備。商業施設の集約化	8
駅ロータリーの整備。車の迎への駐車スペースが少ない。	2
地域振興券の還元率アップなど、商業振興対策	2
街路樹、日陰など夏場の暑さ対策	1
その他	6

性・年代別にみると、「いろいろな業種の商店が集まるような施策」は女性 30 歳代、「駅前空き店舗の活用」は女性 20 歳代、「広い歩道など買い物がしやすいような道路の整備」は男性 70 歳以上で多くなっている。

		【上位5項目】					(%)
	N	いろいろな業種の商店が集まるような施策	駐車場や駐輪場の整備	駅前空き店舗の活用	広い歩道など買い物がしやすいような道路の整備	駅前を明るくするような施策	
【全体】	518	34.6	30.5	29.7	20.8	18.9	
【性別】							
男	213	34.3	30.0	28.2	22.5	15.5	
女	300	34.3	31.3	31.0	20.0	21.3	
【性・年代別】							
男・20歳未満	3	33.3	★ 0.0	33.3	★ 0.0	□ 33.3	
男・20歳代	13	☆ 61.5	23.1	38.5	■ 7.7	23.1	
男・30歳代	24	● 16.7	● 12.5	20.8	16.7	□ 29.2	
男・40歳代	40	37.5	27.5	30.0	17.5	12.5	
男・50歳代	29	37.9	34.5	31.0	13.8	13.8	
男・60歳代	51	37.3	33.3	27.5	21.6	11.8	
男・70歳以上	53	28.3	37.7	26.4	○ 39.6	13.2	
女・20歳未満	3	33.3	★ 0.0	★ 0.0	□ 33.3	● 0.0	
女・20歳代	22	31.8	27.3	○ 45.5	13.6	27.3	
女・30歳代	33	○ 51.5	24.2	■ 18.2	12.1	24.2	
女・40歳代	52	34.6	36.5	32.7	19.2	21.2	
女・50歳代	55	32.7	36.4	32.7	20.0	18.2	
女・60歳代	70	■ 24.3	35.7	34.3	21.4	18.6	
女・70歳以上	65	38.5	24.6	27.7	24.6	24.6	

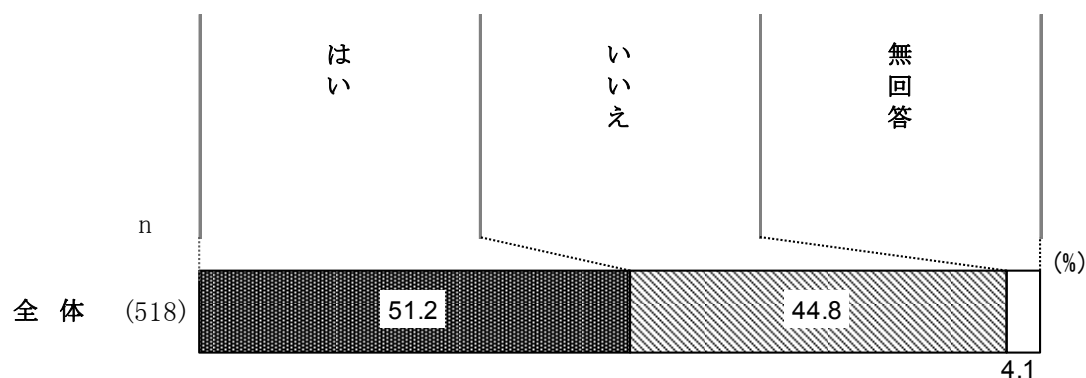
全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

1.4. 生涯学習

(1) 「学び」に関する活動の実施

この1年間に「学び」に関する活動を行った人は51.2%と半数強を占めている。

問31 あなたは、この一年間で、ご自身の「学び」に関する活動を行いましたか。どちらか1つを選んでください。



性別にみると、「学び」に関する活動を行った人は、男性 46.5%に対し、女性 54.0%とやや多くなっている。

性・年代別にみると、「学び」に関する活動を行った人の中で、男性 30 歳代及び 70 歳以上については 40%強にとどまり、やや少なくなっている。

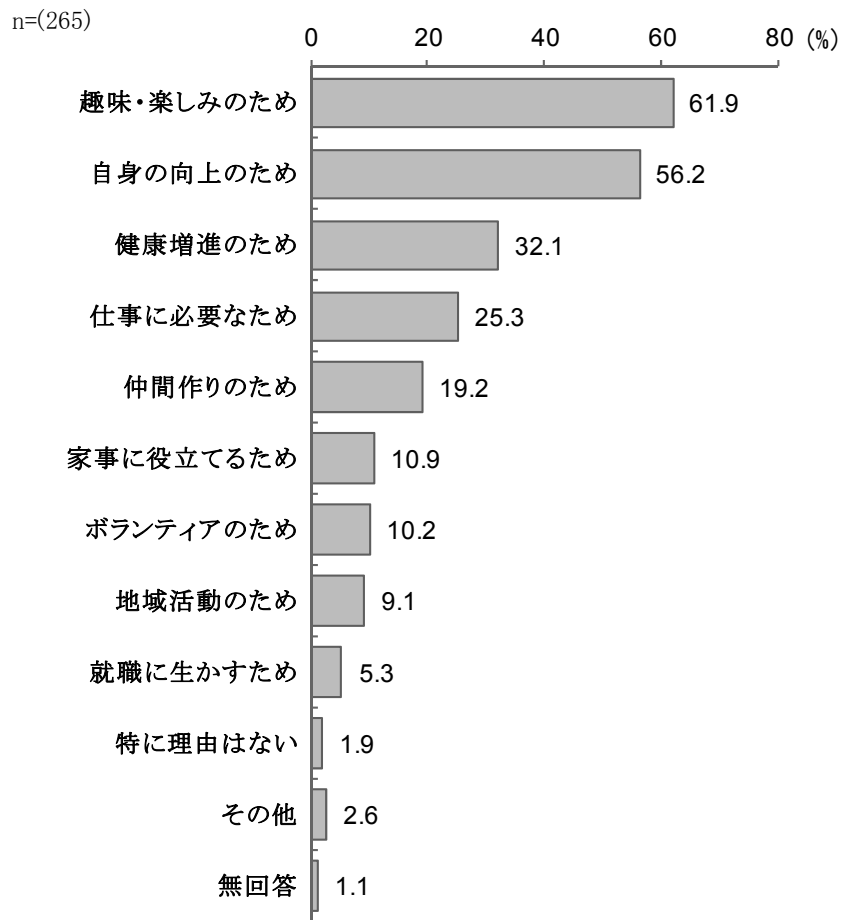
	N	はい (%)	いいえ (%)	無回答 (%)
【全体】	518	51.2	44.8	4.1
【性別】				
男	213	46.5	51.6	1.9
女	300	54.0	40.3	5.7
【性・年代別】				
男・20歳未満	3	○ 66.7	■ 33.3	0.0
男・20歳代	13	■ 38.5	○ 61.5	0.0
男・30歳代	24	41.7	□ 58.3	0.0
男・40歳代	40	47.5	52.5	0.0
男・50歳代	29	51.7	48.3	0.0
男・60歳代	51	49.0	49.0	2.0
男・70歳以上	53	43.4	50.9	5.7
女・20歳未満	3	☆ 100.0	★ 0.0	0.0
女・20歳代	22	54.5	45.5	0.0
女・30歳代	33	48.5	48.5	3.0
女・40歳代	52	55.8	42.3	1.9
女・50歳代	55	45.5	50.9	3.6
女・60歳代	70	57.1	37.1	5.7
女・70歳以上	65	56.9	● 29.2	13.8

全体値より ☆ : +20%以上高い、○ : +15~20%高い、□ : +10~15%高い
 ★ : -20%以上低い、● : -15~20%低い、■ : -10~15%低い

(2) 「学び」を行う目的

「学び」に関する活動を行った人の目的をみると、「趣味・楽しみのため」(61.9%)と「自身の向上のため」(56.2%)の2つが多くなっており、以下、「健康増進のため」(32.1%)と「仕事に必要なため」(25.3%)がつついている。

問32 あなたが「学び」を行っている目的はどれですか。(〇はいくつでも)

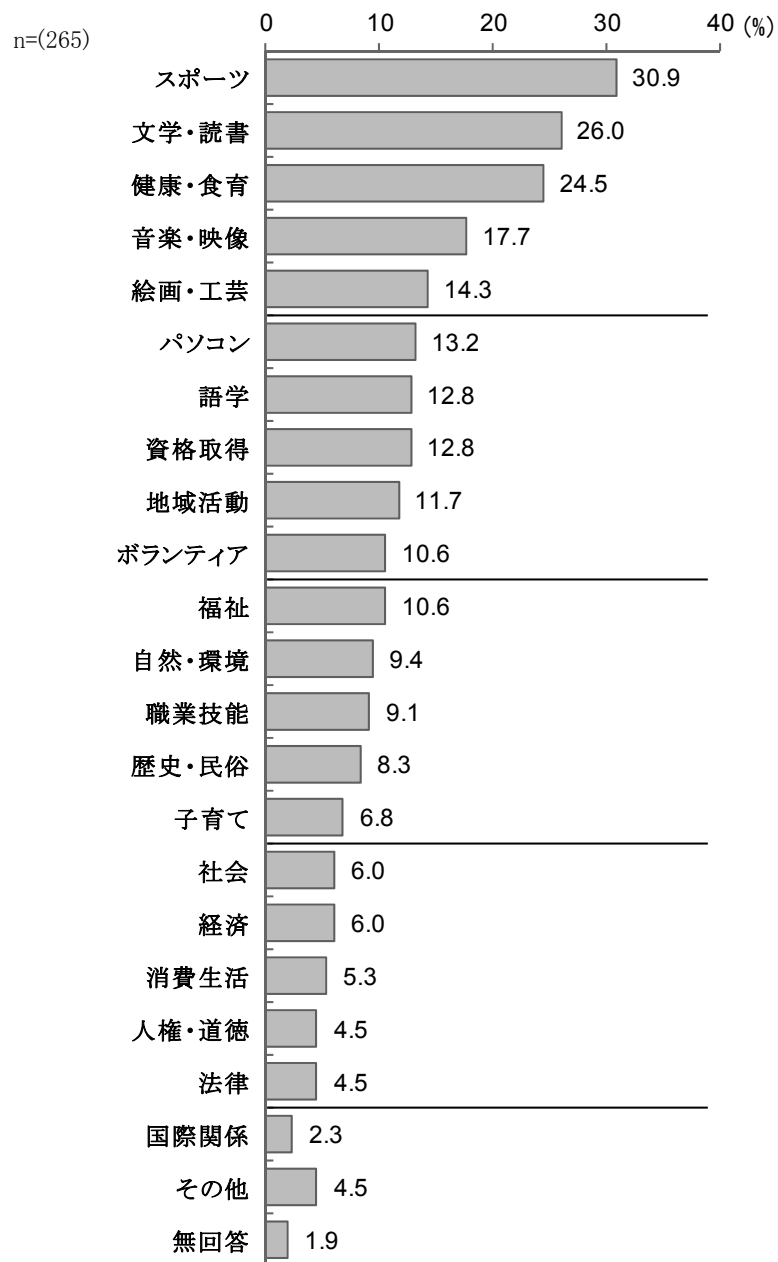


その他の回答内容	件数
育児のため	2
老後のため	2
その他	3

(3) 「学び」の分野

「学び」に関する活動を行った人の分野をみると、「スポーツ」(30.9%)、「文学・読書」(26.0%)、「健康・食育」(24.5%)の3つが20%以上でやや多くなっているが、全体的には多岐にわたる分野の「学び」に関する活動が行われている。

問32-1 あなたが行っている「学び」は、どのような分野ですか。(〇はいくつでも)

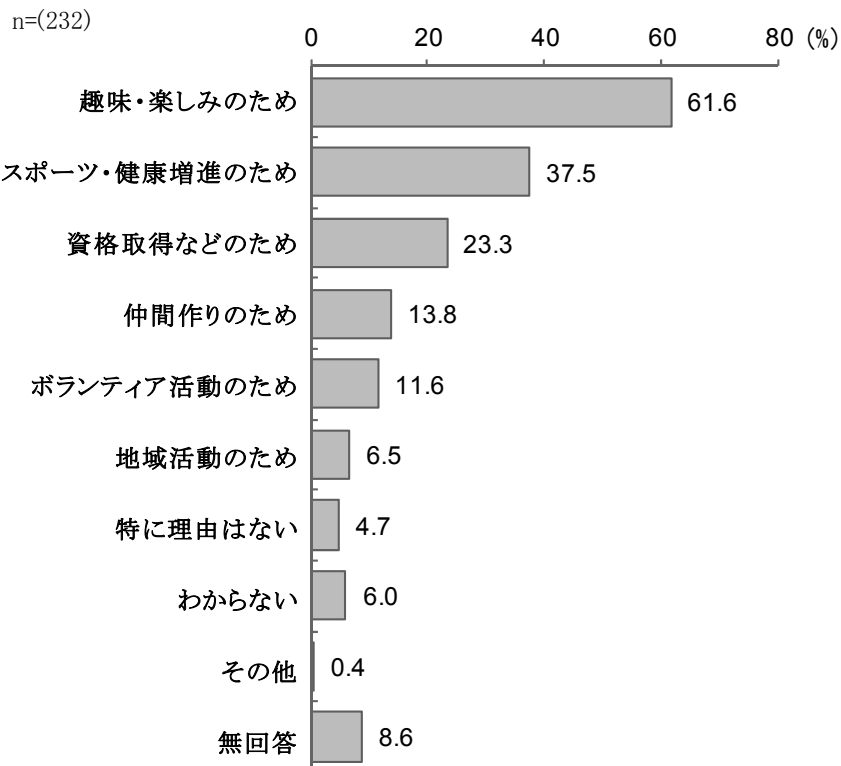


その他の回答内容	件数
洋裁、手芸	2
文化美術	2
料理	1
菜園	1
大正琴	1
動物保護、植物、自然の安全、情報交換、友好活動	1
医療	1
俳句	1
障害児教育	1
書道	1
サイエンス・カフェ	1

(4) これからの「学び」に取り組むための目的

この1年間に「学び」に関する活動を行ったことがない人の「学び」に取り組む場合の目的をみると、「趣味・楽しみのため」をあげる人が61.6%と多数を占めている。ついで、「スポーツ・健康増進のため」(37.5%)、「資格取得などのため」(23.3%)がつついている。

問33 あなたが「学び」に取り組むとしたら、どのような目的で取り組んでみたいですか。(〇はいくつでも)

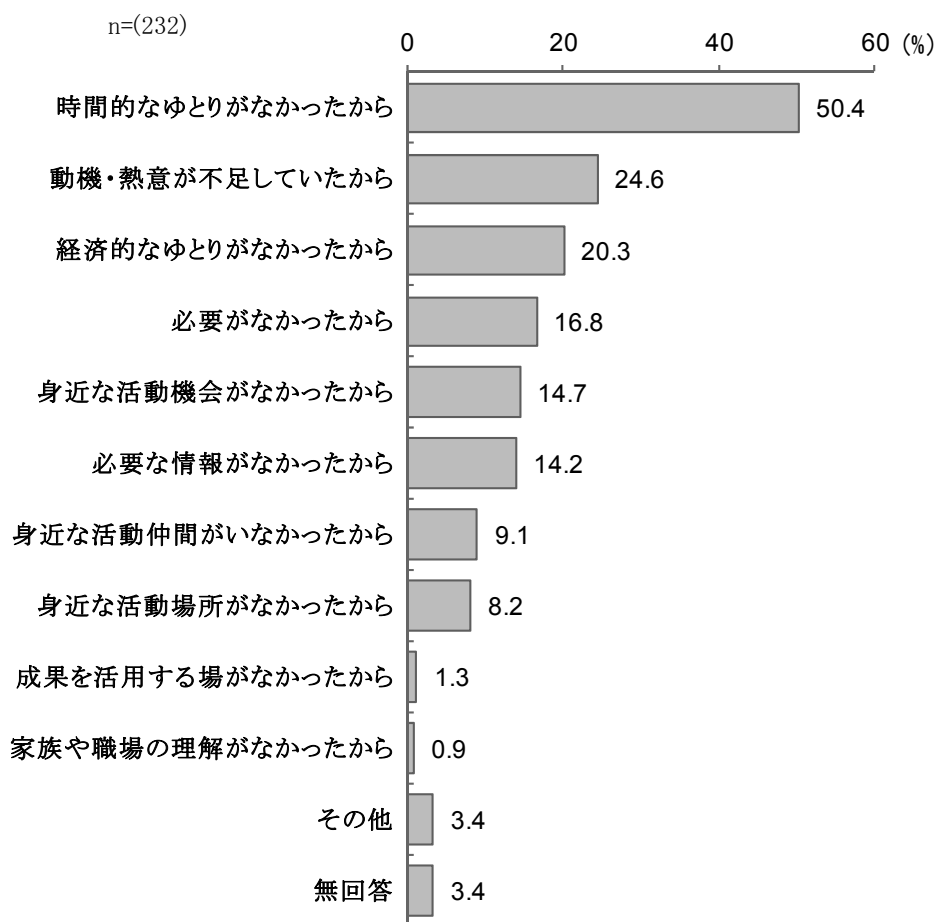


その他の回答内容	件数
生活のため	4
自身の向上のため	2
脳の活性化のため	2
定年後の収入源のため	1
その他	2

(5) 「学び」に取り組まなかった理由

この1年間に「学び」に関する活動を行ったことがない人でその理由をみると、「時間的なゆとりがなかったから」が50.4%と半数を占め、ついで、「動機・熱意が不足していたから」(24.6%)と「経済的なゆとりがなかったから」(20.3%)が20%台でつづいている。

問33-1 あなたが「学び」に取り組まなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

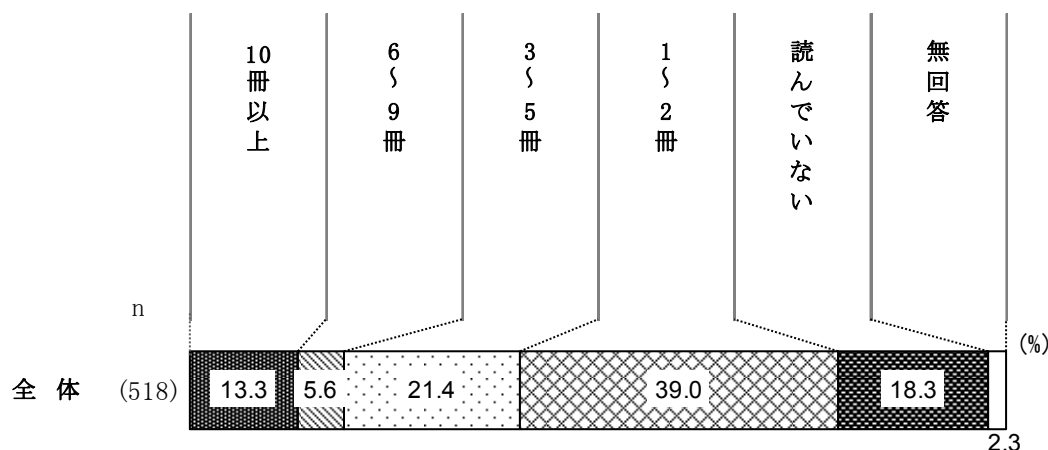


その他の回答内容	件数
体調が悪かった	3
仕事、家事のため	2
資格を取っても雇ってくれる所がない	1
その他	1

(6) 月間の読書冊数

この1年間の本の月間読書冊数は、「1～2冊」が39.0%と最も多く、ついで、「3～5冊」が21.4%でつづいている。一方、「読んでいない」とする人は18.3%と約5人に1人の割合となっている。

問34 あなたは、この1年間において、本（一般書籍・小説・専門書・雑誌など）を、1か月あたり平均して何冊ぐらい読みましたか。次の中から選んでください。（○は1つ）



性・年代別にみると、各年代とも「1～2冊」とする人が最も多くなっている。

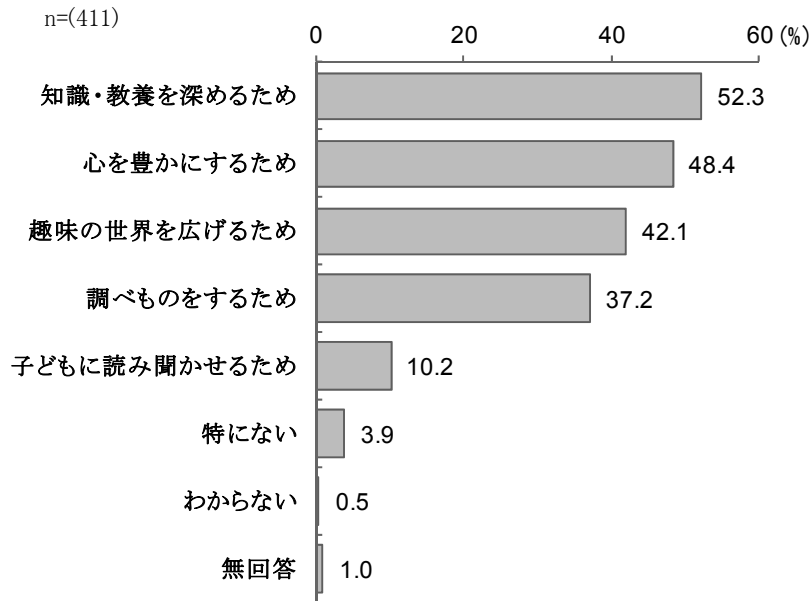
	N	10冊以上	6～9冊	3～5冊	1～2冊	読んでいない	無回答
【全体】	518	13.3	5.6	21.4	39.0	18.3	2.3
【性別】							
男	213	12.2	5.2	21.6	40.4	20.2	0.5
女	300	14.0	6.0	21.0	38.0	17.3	3.7
【性・年代別】							
男・20歳未満	3	☆ 66.7	0.0	★ 0.0	33.3	● 0.0	0.0
男・20歳代	13	■ 0.0	7.7	○ 38.5	38.5	15.4	0.0
男・30歳代	24	16.7	4.2	16.7	41.7	20.8	0.0
男・40歳代	40	5.0	5.0	17.5	○ 55.0	17.5	0.0
男・50歳代	29	17.2	3.4	13.8	34.5	□ 31.0	0.0
男・60歳代	51	11.8	3.9	29.4	37.3	17.6	0.0
男・70歳以上	53	13.2	7.5	20.8	35.8	20.8	1.9
女・20歳未満	3	☆ 33.3	0.0	☆ 66.7	★ 0.0	● 0.0	0.0
女・20歳代	22	18.2	9.1	18.2	31.8	22.7	0.0
女・30歳代	33	21.2	6.1	15.2	39.4	18.2	0.0
女・40歳代	52	11.5	7.7	11.5	□ 50.0	17.3	1.9
女・50歳代	55	16.4	3.6	25.5	38.2	12.7	3.6
女・60歳代	70	14.3	7.1	24.3	32.9	14.3	7.1
女・70歳以上	65	7.7	4.6	23.1	36.9	23.1	4.6

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

(7) 読書の目的

読書の目的については、「知識・教養を深めるため」(52.3%)と「心を豊かにするため」(48.4%)の2つが50%前後と多く、ついで、「趣味の世界を広げるため」(42.1%)、「調べものをするため」(37.2%)が40%前後でつづいている。

問35 本を読む目的について、次の中からあなたの考えに一番近い項目を選んでください。(〇はいくつでも)



性・年代別にみると、女性40歳代以下では「子どもに読み聞かせるため」とする人が3割前後と多くなっている。

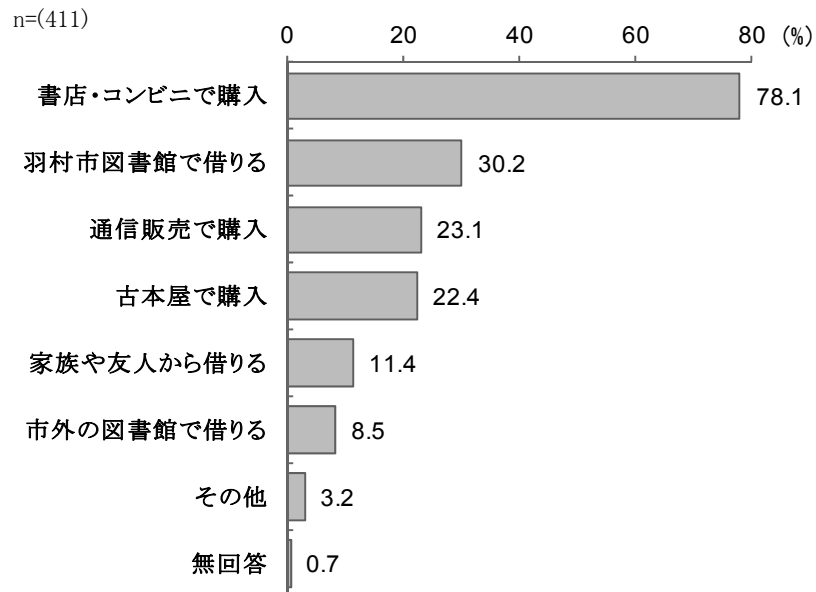
	N	知識・教養を深めるため	心を豊かにするため	趣味の世界を広げるため	調べものをするため	子どもに読み聞かせるため	特にない	わからない	無回答
【Q34で1~4「本を読んでいる」方】	411	52.3	48.4	42.1	37.2	10.2	3.9	0.5	1.0
【性別】									
男	169	54.4	38.5	47.9	32.5	5.9	4.1	0.6	0.6
女	237	51.1	55.7	38.0	39.7	13.5	3.8	0.4	1.3
【性・年代別】									
男・20歳未満	3	□ 66.7	● 33.3	☆ 66.7	33.3	■ 0.0	0.0	0.0	0.0
男・20歳代	11	45.5	■ 36.4	☆ 63.6	○ 54.5	■ 0.0	0.0	9.1	0.0
男・30歳代	19	○ 68.4	★ 26.3	42.1	31.6	□ 21.1	0.0	0.0	0.0
男・40歳代	33	54.5	● 33.3	51.5	● 18.2	12.1	9.1	0.0	0.0
男・50歳代	20	○ 70.0	■ 35.0	○ 60.0	★ 15.0	5.0	0.0	0.0	0.0
男・60歳代	42	59.5	45.2	40.5	31.0	2.4	7.1	0.0	0.0
男・70歳以上	41	● 36.6	43.9	43.9	□ 48.8	■ 0.0	2.4	0.0	2.4
女・20歳未満	3	● 33.3	☆ 100.0	33.3	☆ 66.7	☆ 33.3	0.0	0.0	0.0
女・20歳代	17	■ 41.2	52.9	○ 58.8	41.2	☆ 35.3	0.0	5.9	0.0
女・30歳代	27	59.3	● 29.6	48.1	40.7	○ 29.6	3.7	0.0	0.0
女・40歳代	42	○ 71.4	47.6	42.9	42.9	○ 26.2	7.1	0.0	0.0
女・50歳代	46	50.0	50.0	★ 21.7	32.6	4.3	4.3	0.0	2.2
女・60歳代	55	54.5	□ 60.0	49.1	□ 47.3	3.6	5.5	0.0	0.0
女・70歳以上	47	★ 29.8	☆ 76.6	● 23.4	31.9	4.3	0.0	0.0	4.3

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15~20%高い、□：+10~15%高い
★：-20%以上低い、●：-15~20%低い、■：-10~15%低い

(8) 本の入手方法

本の入手方法としては、「書店・コンビニで購入」が 78.1%と多数を占めている。ついで、「羽村市図書館で借りる」が 30.2%、「通信販売で購入」が 23.1%、「古本屋で購入」が 22.4%でつづいている。

問36 あなたは、読みたい本をどのようにして入手しますか。次の中から選んでください。(〇はいくつでも)



その他の回答内容	件数
電子書籍	3
職場	3
ネット通販で購入	2
学校の図書館	1
定期購読で配達	1
その他	3

性・年代別にみると、各年代とも「書店・コンビニで購入」が最も多くなっている。「羽村市図書館で借りる」は女性30歳代、40歳代、60歳代で40%以上と多くなっている。

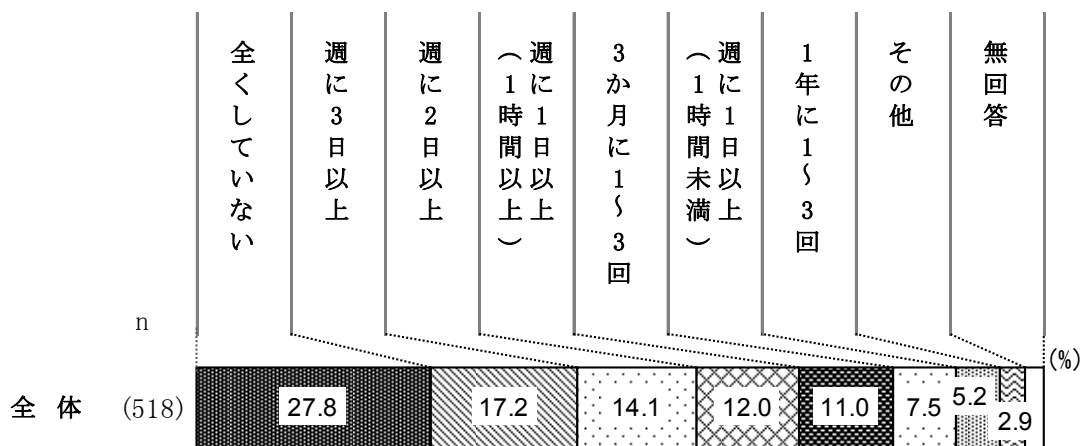
	N	書店・コンビニで購入	羽村市図書館で借りる	通信販売で購入	古本屋で購入	家族や友人から借りる	市外の図書館で借りる	その他	無回答
【Q34で1～4「本を読んでいる」方】	411	78.1	30.2	23.1	22.4	11.4	8.5	3.2	0.7
【性別】									
男	169	75.1	26.0	23.1	25.4	7.1	7.1	2.4	1.2
女	237	80.2	32.5	23.6	20.3	14.8	9.7	3.8	0.4
【性・年代別】									
男・20歳未満	3	■ 66.7	☆ 66.7	★ 0.0	□ 33.3	☆ 33.3	☆ 33.3	0.0	0.0
男・20歳代	11	81.8	★ 9.1	☆ 45.5	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0
男・30歳代	19	★ 57.9	36.8	□ 36.8	31.6	15.8	15.8	5.3	0.0
男・40歳代	33	81.8	■ 18.2	21.2	30.3	9.1	3.0	0.0	0.0
男・50歳代	20	70.0	● 15.0	○ 40.0	30.0	5.0	5.0	0.0	0.0
男・60歳代	42	85.7	21.4	16.7	□ 35.7	2.4	7.1	4.8	0.0
男・70歳以上	41	68.3	39.0	■ 12.2	● 4.9	4.9	7.3	2.4	4.9
女・20歳未満	3	■ 66.7	33.3	★ 0.0	□ 33.3	■ 0.0	☆ 33.3	☆ 33.3	0.0
女・20歳代	17	○ 94.1	23.5	□ 35.3	17.6	17.6	☆ 35.3	5.9	0.0
女・30歳代	27	85.2	○ 48.1	29.6	18.5	3.7	14.8	7.4	0.0
女・40歳代	42	76.2	□ 40.5	○ 38.1	□ 35.7	16.7	11.9	2.4	0.0
女・50歳代	46	71.7	23.9	28.3	19.6	8.7	2.2	8.7	2.2
女・60歳代	55	81.8	□ 43.6	14.5	18.2	14.5	10.9	0.0	0.0
女・70歳以上	47	83.0	● 14.9	■ 10.6	■ 10.6	□ 25.5	0.0	0.0	0.0

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15～20%高い、□：+10～15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15～20%低い、■：-10～15%低い

(9) 年間のスポーツ・運動日数

この1年間にスポーツ・運動を行っている人は頻度の差はあるものの、約70%の人が行っている。このうち《週に1日以上》(「週に3日以上」+「週に2日以上」+「週に1日以上」)は50.8%と半数を占めている。一方、全くしていないという人は27.8%であった。

問37 あなたがこの1年間に行ったスポーツ・運動の日数は、どのくらいですか。次の中から選んでください。(○は1つ)



その他の回答内容	件数
毎日欠かさずしている	4
ラジオ体操、毎日	4
仕事で体を使っている	3
月に2~3回	2
続けてする月と全くしない月がある	1
その他	3

性・年代別にみると、女性30歳代~40歳代は「全くしていない」とする人が40%台と多くなっている。

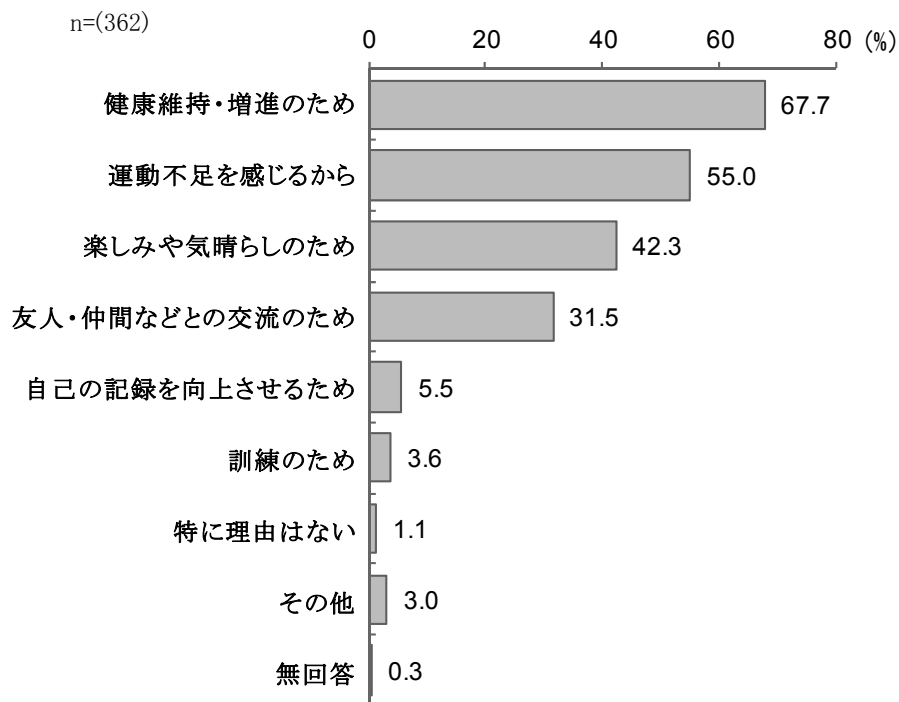
	N	全くしていない	週に3日以上	週に2日以上	週に1日以上 (1時間以上)	3か月に1~3回	週に1日以上 (1時間未満)	1年に1~3回	その他	無回答
【全体】	518	27.8	17.2	14.1	12.0	11.0	7.5	5.2	2.9	2.3
【性別】										
男	213	23.0	15.5	17.8	13.6	14.6	8.5	3.8	1.9	1.4
女	300	31.7	18.7	11.7	11.0	8.3	7.0	6.3	3.7	1.7
【性・年代別】										
男・20歳未満	3	★ 0.0	○ 33.3	○ 33.3	■ 0.0	■ 0.0	☆ 33.3	0.0	0.0	0.0
男・20歳代	13	23.1	15.4	7.7	□ 23.1	15.4	7.7	7.7	0.0	0.0
男・30歳代	24	29.2	12.5	4.2	4.2	□ 25.0	16.7	4.2	0.0	4.2
男・40歳代	40	■ 17.5	7.5	12.5	15.0	□ 25.0	10.0	12.5	0.0	0.0
男・50歳代	29	27.6	17.2	10.3	20.7	13.8	6.9	0.0	0.0	3.4
男・60歳代	51	25.5	17.6	23.5	17.6	5.9	3.9	0.0	3.9	2.0
男・70歳以上	53	20.8	18.9	□ 28.3	7.5	11.3	7.5	1.9	3.8	0.0
女・20歳未満	3	33.3	○ 33.3	■ 0.0	■ 0.0	■ 0.0	0.0	0.0	☆ 33.3	0.0
女・20歳代	22	36.4	● 0.0	■ 0.0	18.2	13.6	13.6	□ 18.2	0.0	0.0
女・30歳代	33	○ 45.5	■ 6.1	6.1	9.1	□ 21.2	3.0	6.1	3.0	0.0
女・40歳代	52	☆ 48.1	9.6	■ 3.8	13.5	5.8	5.8	9.6	3.8	0.0
女・50歳代	55	30.9	12.7	12.7	7.3	7.3	12.7	12.7	1.8	1.8
女・60歳代	70	21.4	□ 30.0	15.7	12.9	5.7	5.7	1.4	4.3	2.9
女・70歳以上	65	21.5	□ 30.8	20.0	9.2	6.2	4.6	0.0	4.6	3.1

全体値より ☆：+20%以上高い、○：+15~20%高い、□：+10~15%高い
 ★：-20%以上低い、●：-15~20%低い、■：-10~15%低い

(10) スポーツ・運動を行う理由

スポーツ・運動を行う理由としては、「健康維持・増進のため」が 67.7%と最も多く、ついで、「運動不足を感じるから」が 55.0%、「楽しみや気晴らしのため」が 42.3%、「友人・仲間などとの交流のため」が 31.5%でつづいている。

問38 あなたがスポーツや運動を行った理由としてあてはまるものを次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

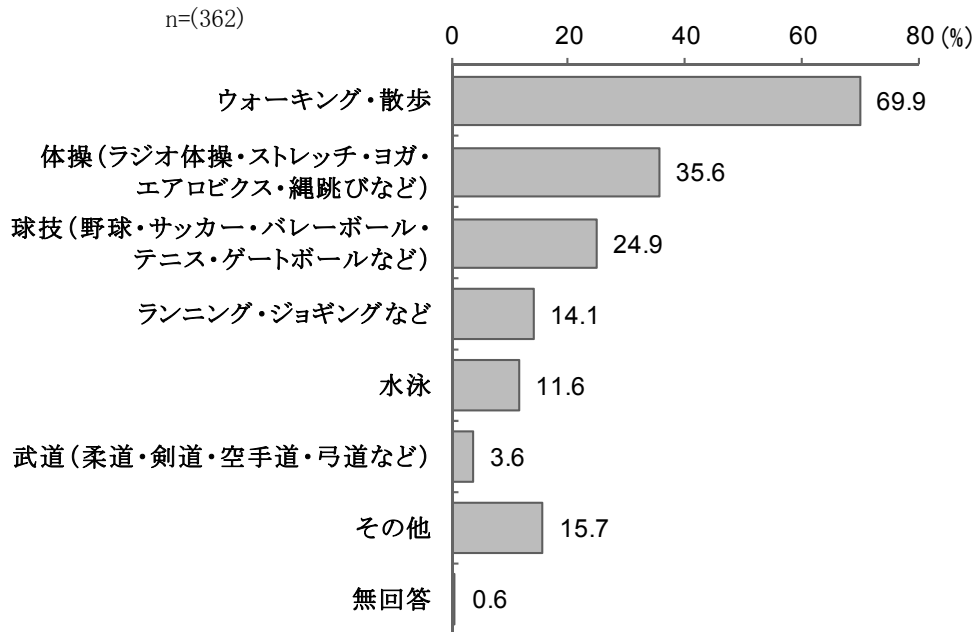


その他の回答内容	件数
子どもの相手	3
ダイエット	2
克己心を養うため。精神力の向上	1
一年前に糖尿病になったため	1
脳の活性化	1
通勤かねて	1
その他	2

(11) この1年間に行ったスポーツ・運動の種目

この1年間に行ったスポーツ・運動の種目としては、「ウォーキング・散歩」が69.9%と最も多くなっている。ついで、「体操（ラジオ体操・ストレッチ・ヨガ・エアロビクス・縄跳びなど）」が35.6%、「球技（野球・サッカー・バレーボール・テニス・ゲートボールなど）」が24.9%でつづいている。

問39 あなたがこの1年間に行ったスポーツ・運動の種目について、次の中から選んでください。（〇はいくつでも）



その他の回答内容	件数
ゴルフ	7
ダンス、舞踊	6
登山	6
F.G. (フィールドゴルフ)、ペタンク、輪投げ	5
エクササイズ、筋トレ	5
スキー、スノーボード	4
サイクリング	4
バドミントン	2
スキューバダイビング	2
ボウリング	2
ジムトレーニング	2
健康器具による運動	1
サーフィン	1
ヨット	1
太極拳	1
ソフトボール	1
ストレッチ	1
インディアカ	1
水中ウォーキング	1
陸上競技・モータースポーツ (サーキットタイムアタック)	1
リハビリ (手足の運動)	1

Ⅲ. 調査票

平成27年度 羽村市 市政世論調査

【調査ご協力をお願い】

日ごろから、市政運営にご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、このたび羽村市では、市民の皆様のご意見をお聞きし、市の施策に反映させるため、市政世論調査を実施することといたしました。

ご多忙のところ、ご面倒をおかけしますが、今後の市政運営に必要な調査ですので、ぜひ、ご協力をお願いします。

なお、この調査は、市内にお住まいの満18歳以上の方の中から無作為に1,200名を選ばせていただきました。

また、この調査集計結果は、市のホームページ等で公表させていただきますが、調査は無記名とし、ご回答いただきました内容は、調査目的以外に利用することはありません。

このため、ご回答いただきました皆様にご迷惑をおかけすることはありませんので、ご安心のうえ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成27年8月

羽村市長

並木 心

【ご記入にあたって】

- ・封筒の宛名にあるご本人様がお答えください。ご本人様の記入が困難な場合は身近な方がご本人様の意見を聞きながら代筆をしていただいても結構です。
- ・ありのままのお考え、状況をお答えください。
- ・鉛筆または黒のボールペンでご記入ください。
- ・回答が「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、（ ）内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
- ・調査票および封筒には住所・氏名をお書きにならなくて結構です。
- ・調査用紙にご記入のうえ、同封の返信用封筒にて回答期限までにご投函ください。

回答期限 9月7日（月）まで

【市政世論調査へのお問合せ】

羽村市企画総務部広報広聴課市民相談係 042-555-1111 内線192・199

今回、市政世論調査にあわせて、「羽村市の情報化に関するアンケート」(別紙)も実施いたします。
このアンケートは、高度情報化社会の進展に対応した行政運営を推進していくため、市民の皆様インターネットの利用状況や羽村市の情報化に関するお考えをお聞きし、今後の基礎資料とするために実施するものです。

こちらのアンケートについても、上記の【ご記入にあたって】により、ご記入いただき、市政世論調査とあわせて同封の返信用封筒により回答いただきますようご協力をお願いします。

【羽村市の情報化に関するアンケートへのお問合せ】

羽村市財務部情報管理課

(1) 定住性と住みよさ

問1 あなたは羽村市を住みよいところだと思いますか。(〇は1つ)

1	2	3	4	5
とても住みよい	まあ住みよい	普通	あまり住みよい とは思わない	非常に住み にくい

【問2へ】

問1-1 その主な理由は何ですか。

(〇は1つ)

<ul style="list-style-type: none"> 1 自然環境が良い 2 交通の便が良い 3 都市環境が良い 4 道路や公園、図書館、スポーツセンター等の公共施設が整備されている 5 住んでいる人の人情や気風がよい 6 買物が便利 7 子育てする環境が良い 8 その他 <p>〔具体的に： 〕</p>
--

問1-2 その主な理由は何ですか。

(〇は1つ)

<ul style="list-style-type: none"> 1 自然環境が悪い 2 交通の便が悪い 3 都市環境が良くない 4 道路や公共施設が不十分 5 住んでいる人の人情や気風がよくない 6 買物が不便 7 子育てしづらい 8 その他 <p>〔具体的に： 〕</p>
--

《全員の方が回答してください》

問2 あなたは今後も羽村市に住み続けたいと思いますか。それとも市外に転居したいと思いますか。(〇は1つ)

1	2	3	4
ずっと住み続けたい	当分の間住みたい	できれば他の区市町村に転出したい	他の区市町村に転出する

その主な理由は何ですか。

〔具体的に： 〕

(2) 市の施策に対する満足度・重要度

問3 羽村市が取り組んでいる施策のうち以下の各項目について、満足度、重要度のあてはまるものを1~4の中からそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

	満足度				重要度			
	満 足 で あ る	満 ど ち ら か と い え ば	不 満 足 で あ る	不 満 で あ る	重 要 で あ る	重 ど ち ら か と い え ば	重 ど ち ら か と い え ば	重 要 で あ る
○は満足度、重要度にそれぞれ1つずつ →								
小地域ネットワークや福祉のまちづくりなどの地域福祉	1	2	3	4	1	2	3	4
高齢者がいきいきと安心して暮らせるための高齢者施策	1	2	3	4	1	2	3	4
障害者が地域の中で安心して暮らせるための施策	1	2	3	4	1	2	3	4
安心して子どもを産み、育てられる子育て支援	1	2	3	4	1	2	3	4
生活保護世帯などへの経済給付や自立に向けた支援など	1	2	3	4	1	2	3	4
介護サービスの情報提供や事業者の資質・モラル向上への支援	1	2	3	4	1	2	3	4
健全な国民健康保険制度運営のための保険税率の適正化や収納率向上など	1	2	3	4	1	2	3	4
後期高齢者医療制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談	1	2	3	4	1	2	3	4
国民年金制度の趣旨の普及や制度などのPR・相談	1	2	3	4	1	2	3	4
市民の健康管理支援や保健サービスの充実などの健康づくり施策	1	2	3	4	1	2	3	4
医療体制や福生病院の充実に向けた支援	1	2	3	4	1	2	3	4
家庭教育・幼児教育の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
小・中学校での教育活動や学習環境	1	2	3	4	1	2	3	4
青少年の社会参加や地域での育成活動支援などの青少年健全育成の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
生涯学習環境の整備（生涯学習センターや図書館等）	1	2	3	4	1	2	3	4
生涯学習に対する活動支援や学習プログラムの充実	1	2	3	4	1	2	3	4
文化・芸術	1	2	3	4	1	2	3	4
スポーツ・レクリエーション活動	1	2	3	4	1	2	3	4
羽村の歴史・文化を保護・継承するための学習環境づくり	1	2	3	4	1	2	3	4
水や緑などの自然環境の保全	1	2	3	4	1	2	3	4
ごみの減量（3Rの推進）など循環型社会の構築	1	2	3	4	1	2	3	4
地球温暖化の防止、公害防止、愛護動物対策など都市環境の向上	1	2	3	4	1	2	3	4
災害に強いまちを創るための防災体制の整備充実	1	2	3	4	1	2	3	4
交通安全対策	1	2	3	4	1	2	3	4

	満足度				重要度			
	満 足 で あ る	満 ど ち ら か と い え ば	不 満 ち ら か と い え ば	不 満 で あ る	重 要 で あ る	重 ど ち ら か と い え ば	重 ど ち ら か と い え ば	重 要 で な い
○は満足度、重要度にそれぞれ1つずつ →								
防犯体制の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
横田基地の航空機騒音の解消や市民生活の安全確保	1	2	3	4	1	2	3	4
個性的で魅力あふれる都市景観	1	2	3	4	1	2	3	4
地域特性にあった土地利用の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
区画整理やバリアフリーのまちづくりなど、市街地整備の推進	1	2	3	4	1	2	3	4
道路の整備状況	1	2	3	4	1	2	3	4
広域交通（JRなど）や市内の交通網（コミュニティバス「はむらん」など）の充実	1	2	3	4	1	2	3	4
市内の公園	1	2	3	4	1	2	3	4
羽村市独自（市単独）の水道事業	1	2	3	4	1	2	3	4
雨水管渠整備など、公共下水道の整備	1	2	3	4	1	2	3	4
公営住宅などの整備や良好な住環境をつくるための施策	1	2	3	4	1	2	3	4
工業の振興策	1	2	3	4	1	2	3	4
商業の活性化や魅力ある商業環境づくり	1	2	3	4	1	2	3	4
農業の振興と農地の保全	1	2	3	4	1	2	3	4
観光資源の整備やイベントの充実など、観光事業の活性化	1	2	3	4	1	2	3	4
消費者への情報提供や相談の充実など、消費生活の向上を支援する施策	1	2	3	4	1	2	3	4
雇用機会の創出	1	2	3	4	1	2	3	4
市民参画・協働の機会拡大や市政情報の提供・公開など、市民と行政が連携したまちづくり	1	2	3	4	1	2	3	4
わかりやすい広報や市民の声を市政に生かす広聴活動	1	2	3	4	1	2	3	4
町内会・自治会、市民団体、NPO法人などへの活動支援やコミュニティ施設整備	1	2	3	4	1	2	3	4
男女共同参画、人権の尊重、平和思想の主旨普及など共生社会を推進していく施策	1	2	3	4	1	2	3	4
国際感覚を持った人材育成や国際交流の推進、外国人も暮らしやすいまちづくり	1	2	3	4	1	2	3	4
電子自治体構築などの行政サービスの情報化、セキュリティ対策、個人情報保護	1	2	3	4	1	2	3	4
窓口業務の拡大、広域行政の推進など、効率的な行政運営	1	2	3	4	1	2	3	4
長期的展望に立った財源の安定的確保と合理的・効率的な財政運営	1	2	3	4	1	2	3	4
羽村市役所等、羽村市の公共施設職員の窓口対応	1	2	3	4	1	2	3	4

(3) 羽村市の魅力・羽村らしさ

問4 羽村市に関するキーワードの中で、あなたが魅力や羽村らしさを感じるものはどれですか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

1 羽村の堰	2 玉川上水
3 多摩川	4 動物公園
5 生涯学習センター「ゆとろぎ」	6 図書館
7 郷土博物館	8 スポーツセンター
9 スイミングセンター	10 自然休暇村
11 羽村駅前の商店街	12 小作駅前の商店街
13 チューリップ畑	14 花と水のまつり (さくらまつり、チューリップまつり)
15 春祭り	16 はむら夏まつり
17 はむらふるさとまつり	18 産業祭
19 文化祭	20 環境フェスティバル
21 市民体育祭	22 総合体育大会
23 どんど焼き	24 地下水100%の水道水 (ペットボトル水「水はむら」)
25 テレビはむら	26 コミュニティバスはむらん
27 電気バスはむらん	
28 その他	具体的に:
29 特にない	30 わからない

問5 将来の羽村市はどのようなまちであってほしいと思いますか。次の中から選んでください。(〇は2つまで)

1 防災・防犯や交通安全に配慮した安心して暮らせるまち
2 安心して子育てができるまち
3 高齢者や障害者が住みなれた地域で安心して暮らせるまち
4 地球温暖化対策や再生可能エネルギーなどを取り入れたひとと生物にやさしいまち
5 自然と都市が調和した美しい景観のまち
6 公害や不法投棄などが少ない環境に配慮したまち
7 商工業や観光が活性化され、多くの人が集まるにぎわいのあるまち
8 文化活動やスポーツ活動が盛んなまち
9 地域の活動やボランティア活動をはじめ、市民活動が盛んなまち
10 その他 (具体的に:)
11 今のままでよい
12 わからない

(4) 市政への関心度

問6 あなたは市政にどの程度関心をもっていますか。次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 大いに関心がある | 2 やや関心がある |
| 3 どちらともいえない | 4 あまり関心がない |
| 5 全く関心がない | |

問7 市の施策の中で今後、あなたが市に特に力を入れてほしいと思う施策、新たに取り組んでほしい施策はどんなことですか。次の中から選んでください。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1 高齢者福祉 | 2 障害者福祉 |
| 3 生活保護世帯等の福祉対策 | 4 少子化対策 |
| 5 子育て支援対策 | 6 健康診査などの保健衛生対策 |
| 7 医療機関の充実に向けた支援 | 8 学校教育の充実 |
| 9 児童青少年の健全育成 | 10 スポーツ・レクリエーションの振興 |
| 11 生涯学習の推進 | 12 文化・芸術の振興 |
| 13 公害や愛護動物の適正飼育など地域環境対策 | 14 水や緑を守る自然環境対策 |
| 15 次世代エネルギーを活用した持続的な発展を可能とするまちづくり | 16 ごみの減量・リサイクルの推進 |
| 17 防災対策 | 18 交通安全対策 |
| 19 防犯対策 | 20 テロ対策 |
| 21 区画整理等による市街地の整備 | 22 道路の整備 |
| 23 公園の整備 | 24 上・下水道の整備 |
| 25 中心市街地の活性化 | 26 住宅対策 |
| 27 商工業の活性化 | 28 物価・消費者対策 |
| 29 コミュニティ活動の推進 | 30 男女共同参画などの推進 |
| 31 情報化の推進 | |
| 32 その他 (具体的に:) | |
| 33 特にない | 34 わからない |

問8 市では、「市政への市民参画・市民との協働」を進めていますが、あなたは、どのような形で市政に参加・協働したいと思いますか。次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1 市長への手紙などの制度 | 2 市長とトークなどの懇談会 |
| 3 まちづくりフォーラムなどの対話集会 | 4 公聴会 |
| 5 事業実施のための実行委員会 | 6 公募による審議会などの委員 |
| 7 出前講座などへの参加 | 8 公園ボランティア等の公共施設管理など |
| 9 捨て看板除却や市民生活安全パトロールなどのボランティア | 10 その他 (具体的に:) |
| 11 参加をためらっている | |
| 12 参加したくない | 13 わからない |

(5) 市民活動

問9 あなたは、次のような市民活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

- 1 町内会・自治会組織に参加
- 2 地域の団体(PTA、地区委員会など)に参加
- 3 ボランティア活動や地域福祉活動をする団体に参加
- 4 文化、学習、芸術活動をする団体に参加
- 5 スポーツ活動をする団体に参加
- 6 個人として、ボランティア等の活動に参加
- 7 参加はしていない

問10 前問で、参加していないとお答えの方に、その主な理由を次の中から選んでください。(〇は2つまで)

- 1 活動に関する情報がない 情報が得られない
- 2 忙しくて時間がとれない
- 3 家族など周囲から、参加の理解が得られない
- 4 健康に自信がない 続けられるかが不安
- 5 人間関係がわずらわしい
- 6 活動自体に興味関心がない
- 7 その他(具体的に:)

問11 町内会・自治会組織に参加していない人にお聞きします。参加していない主な理由を次の中から選んでください。(〇は2つまで)

- 1 隣近所のつきあいがわずらわしい
- 2 役員などになりたくない
- 3 会費の支払が負担である
- 4 加入してもメリットが感じられない
- 5 仕事やその他の活動が忙しく、参加する時間が無い
- 6 どのような組織で、どのような活動をしているのかわからない
- 7 加入の仕方がわからない
- 8 その他(具体的に:)

(6) 男女共同参画

問12 あなたは、次のア～クにあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について、あなたの感じ方に最も近いものを選び、○をつけてください。

○は1つずつ →	男性のほう が優遇されて いる	どちらか と 言えば 男性の ほう が 優 遇 さ れ て い る	平 等 に な っ て い る	ど ち ら か と 言 え ば 女 性 の ほう が 優 遇 さ れ て い る	女性 の ほう が 優 遇 さ れ て い る	わ か ら な い
ア 一般の家庭の中で	1	2	3	4	5	6
イ 一般の職場の中で	1	2	3	4	5	6
ウ 社会通念や慣習で	1	2	3	4	5	6
エ 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
オ 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
カ 地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
キ 政治の場で	1	2	3	4	5	6
ク 全体として	1	2	3	4	5	6

問13 羽村市は男女共同参画都市を宣言し、男女共同参画社会を形成するために様々な施策を実施していますが、今後さらにどのようなことに力を入れていくことが必要だと思いますか。次の中から選んでください。(○は2つまで)

- 1 女性を政策決定の場に積極的に登用する
- 2 広報紙やパンフレットなどで男女平等や相互理解・協力についてPRする
- 3 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談の機能を充実する
- 4 学校教育や生涯学習の場で男女平等や相互理解・協力についての学習を充実する
- 5 保育の施設やサービスを充実する
- 6 高齢者介護や治療の施設・サービスを充実する
- 7 職場における男女の均等な待遇等について周知徹底する
- 8 女性の能力開発の機会や、女性の活動を支援するネットワークを充実する
- 9 子育て相談など男性の子育て参画を支援する
- 10 リーダー養成講座などで女性の市民活動への参画を支援する
- 11 その他(具体的に: _____)
- 12 特にない
- 13 わからない

問 1 4 あなたは、次に掲げる言葉を見たり聞いたりした事がありますか。あるものについて○をつけてください。(○はいくつでも)

- | | | |
|----|-------------------------|---------------|
| 1 | ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和) | |
| 2 | イクジイ | 3 イクメン |
| 4 | セクシュアル・ハラスメント | 5 デートDV |
| 6 | DV (ドメスティック・バイオレンス) | 7 ポジティブ・アクション |
| 8 | パワー・ハラスメント | (積極的改善措置) |
| 9 | ストーカー | 10 リベンジポルノ |
| 11 | マタニティ・ハラスメント | |

問 1 5 女性が職業を持ち続けるために必要なことについて、次の中から選んでください。(○は2つまで)

- | | | | |
|---|-----------------|---|--------------|
| 1 | 家族の協力 | 2 | 働きやすい職場環境づくり |
| 3 | 妊娠出産育児休業制度の利用促進 | 4 | 再就職や創業支援 |
| 5 | 保育施設の充実 | 6 | 子育て支援制度の充実 |
| 7 | 地域の協力 | 8 | その他 () |

問 1 6 あなたは、配偶者からの暴力について相談できる窓口を知っていますか。どちらか1つを選んでください。

- | | | | |
|---|-------|---|------|
| 1 | 知っている | 2 | 知らない |
|---|-------|---|------|

問 1 7 男女間における暴力を防止するためには、どのようなことが必要だと考えますか。次の中から選んでください。(○は2つまで)

- | | |
|----|--|
| 1 | 家庭で保護者が子どもに対し、暴力を防止するための教育を行う |
| 2 | 学校で児童・生徒に対し、暴力を防止するための教育を行う |
| 3 | 地域等で、暴力を防止するための講演会、イベントなどを行う |
| 4 | メディアを活用して、広報等による啓発活動を積極的に行う |
| 5 | 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす |
| 6 | 加害者への罰則を強化する |
| 7 | 暴力を助長するおそれのある情報 (雑誌、コンピューターソフトなど) を取り締まる |
| 8 | その他 (具体的に :) |
| 9 | 特にない |
| 10 | わからない |

(7) 行政改革

問18 市は、どのような考え方で行政改革を進めたらよいと考えますか。あなたの考えに近いものを、次の中から選んでください。(○は2つまで)

- 1 限られた財源の中で、市が新しい事業や施策に取り組むためには、現在行っている補助金・交付金などの見直しも必要である
- 2 市の施設を利用したり、サービスを受ける場合、受益者からある程度の費用を負担してもらうことは必要である
- 3 休日や夜間の窓口サービスにもっと力を入れるべきである
- 4 事務・事業の民間委託化や見直し等を図り、職員数の抑制に努めるべきである
- 5 O A化、情報化にもっと力を入れるべきである
- 6 近隣自治体との広域行政を進めるべきである
- 7 その他(具体的に: _____)
- 8 特にない
- 9 わからない

(8) 水道事業

問19 羽村市の水道事業は、昭和36年に通水を開始して以来、安全でおいしい水道水の供給に努めています。

あなたは、羽村市の水道事業が市単独の事業であり、水源が地下水100%であることを知っていますか。どちらか1つを選んでください。

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問20 羽村市の水道水の印象を、次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 おいしい | 2 どちらかといえばおいしい |
| 3 どちらかといえばおいしくない | 4 おいしくない |
| 5 わからない(飲まない) | |

(9) 環 境

問 2 1 市は、環境への取り組みとして何に重点をおくべきと思いますか。
次の中から選んでください。(〇は3つまで)

- 1 樹木や緑地を守り育てる取り組み
- 2 多摩川周辺や崖線などの自然環境を保全する取り組み
- 3 昔から地域に生息する生きものや生態系を守るなど、生物との共生を図る取り組み
- 4 雨水の利用や地下水を守るなど、水環境を保全する取り組み
- 5 大気汚染、騒音、悪臭などの公害を防止する取り組み
- 6 犬、猫の適正飼育、都市景観などの生活環境を向上する取り組み
- 7 温室効果ガスの抑制や温暖化への適応など地球温暖化を防止する取り組み
- 8 省エネルギー化や再生可能エネルギーの利用拡大などのエネルギー対策
- 9 先端の環境技術により、環境の負荷を低減しながらも生活を便利にし、持続的な発展を可能にする取り組み
- 10 環境に関する情報発信を通じて、市民の環境意識を高める取り組み
- 11 次世代の環境活動を担う人材を育成する取り組み
- 12 ごみの減量や資源リサイクルなど循環型社会を進める取り組み
- 13 特にない
- 14 わからない

問 2 2 エコマーク付き商品など、できるだけ環境負荷の少ない製品を優先的に購入する「グリーン購入」制度について、あなたは知っていますか。どちらか1つを選んでください。

- 1 知っている → 問 2 2 - 1 へ 2 知らない → 問 2 3 へ

問 2 2 - 1 あなたは「グリーン購入」の製品を購入していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 よく購入している | 2 購入したことがある |
| 3 購入したことがない | 4 わからない |

(10) 高齢者福祉

問23 高齢社会を迎え介護保険をはじめ、高齢福祉サービスの充実が求められている中、市に力をいれてほしい施策を、次の中から選んでください。(〇は2つまで)

- 1 高齢者の生きがいつくりにつながる施策の充実
- 2 高齢者の健康づくり・介護予防策の充実
- 3 認知症高齢者や寝たきり高齢者への対策の充実
- 4 ホームヘルパーやデイサービスなどの在宅福祉サービスの充実
- 5 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設福祉サービスの充実
- 6 高齢者が外出しやすいバリアフリーの推進
- 7 その他(具体的に: _____)
- 8 特にない
- 9 わからない

問24 あなたは老後をどのように暮らしていきたいと思いませんか。次の中からあなたの考えに近いものを、選んでください。(〇は2つまで)

- 1 自分に適した仕事を持ちたい
- 2 趣味を深めたり、新しい知識を身につけたい
- 3 老人クラブや地域のサークル活動に参加したい
- 4 日常生活の中で、家族や友人などとの交流を深めながら暮らしたい
- 5 自分が健康なうちは、手助けを必要とする人の力になりたい
- 6 あまり他人とはかかわらず、静かに生活をしたい
- 7 その他(具体的に: _____)
- 8 わからない

(11) 障害者福祉

問25 市として、今後どのような障害者福祉施策が必要と思いませんか。次の中から選んでください。(〇は2つまで)

- 1 障害者が気軽に相談できる窓口などの充実
- 2 障害者の雇用や就労促進につなげる支援の充実
- 3 福祉手当や各種助成金など経済給付の充実
- 4 障害を補うための補装具や日常生活用具等の給付の充実
- 5 グループホームやショートステイ等の生活を支援する施設の充実
- 6 福祉サービスの質の向上に向けた支援の充実
- 7 ホームヘルパーの派遣やデイサービス等の日中生活の支援
- 8 障害のある人と障害のない人の相互理解を深める交流事業などの充実
- 9 障害児のための幼児保育や学童クラブの充実
- 10 その他(具体的に: _____)
- 11 特にない
- 12 わからない

(12) 防災・防犯対策

問26 防災対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものを、次の中から選んでください。(〇は3つまで)

- 1 防災訓練の充実・徹底
- 2 自主防災組織の拡充・充実
- 3 防災に関する知識や情報の提供の充実
- 4 食料や飲料水、毛布などの備蓄品の充実
- 5 消防水利の整備
- 6 公共施設の耐震化の推進
- 7 子どもや高齢者、障害者などの災害に巻き込まれやすい人に対する施設の充実
- 8 避難場所や避難道路などの標識・案内の整備
- 9 応急医療体制の充実
- 10 救援ボランティアの受入れ態勢の充実
- 11 広域的な災害時相互応援体制の充実
- 12 高齢化社会における防災対策（情報伝達等）の充実
- 13 その他（具体的に： _____)
- 14 特にない
- 15 わからない

問27 防犯対策の中で市が特に重点をおいて進めるべきだと思うものを、次の中から選んでください。(〇は2つまで)

- 1 交番の増設の要請
- 2 交番への警察官の常時配置の要請
- 3 パトロールカーによる巡回の強化の要請
- 4 防犯協会と連携した地域における防犯体制の充実
- 5 安全パトロールの充実
- 6 町内会・自治会を中心にした自主防犯活動の充実
- 7 小・中学校PTAなどによる地域での青少年指導、青少年の犯罪防止の充実
- 8 防犯講座の実施などによる市民の防犯意識の向上
- 9 各種広報媒体を活用して各種団体等に情報提供を行うことによる防犯意識の高揚
- 10 公共の場などへの防犯カメラの設置
- 11 その他（具体的に： _____)
- 12 特にない
- 13 わからない

(13) 都市基盤

問28 今後、羽村市の都市基盤の整備をどのように望みますか。
次の中から選んでください。(〇は2つまで)

1	市街地の整備（土地区画整理事業・市街地再開発事業など）	
2	バリアフリーのまちづくり	3 公共施設の計画的整備
4	道路の整備	5 新たな公共交通機関の整備
6	公園の整備	7 住宅環境の整備
8	その他（具体的に：	）
9	特にない	
		10 わからない

問29 今後、市の道路整備について何を優先すべきですか。
次の中から選んでください。(〇は3つまで)

1	歩道の段差解消や点字ブロック等のバリアフリー対策	
2	歩道の拡幅	3 自転車の通行スペースの確保
4	街路樹等の緑化対策	5 電線類の地中化
6	交通騒音や大気汚染などの環境対策	7 案内標識などの整備
8	都市環境に配慮したデザイン された道路	9 街路灯・カーブミラー設置等の 交通安全施設の充実
10	狭あい道路の整備促進	11 道路の改修（舗装）
12	雨水排水処理対策	13 その他（具体的に：
14	特にない	15 わからない

問30 今後、活力に満ちた賑わいのある街を目指すため、羽村・小作両駅・市役所通り周辺に必要な施策を、次の中から選んでください。(〇は2つまで)

1	いろいろな業種の商店が集まるような施策	
2	駅前でのイベントの実施	
3	駐車場や駐輪場の整備	
4	各商店の特徴がわかるような情報提供	
5	駅前空き店舗の活用	
6	商業環境と住居環境の調和を図る施策	
7	広い歩道など買い物しやすいような道路の整備	
8	駅前を明るくするような施策	
9	その他（具体的に：	）
10	特にない	
11	わからない	

(14) 生涯学習

問3 1 あなたは、この一年間で、ご自身の「学び」に関する活動を行いましたか。
どちらか1つを選んでください。

1 はい → 問3 2へ

2 いいえ → 問3 3へ

問3 2 あなたが「学び」を行っている目的はどれですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 趣味・楽しみのため | 2 自身の向上のため |
| 3 家事に役立てるため | 4 仕事に必要なため |
| 5 就職に生かすため | 6 仲間作りのため |
| 7 ボランティアのため | 8 地域活動のため |
| 9 健康増進のため | 10 特に理由はない |
| 11 その他 () | |

問3 2-1 あなたが行っている「学び」は、どのような分野ですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|-------------|-----------|----------|
| 1 絵画・工芸 | 2 音楽・映像 | 3 スポーツ |
| 4 文学・読書 | 5 歴史・民俗 | 6 語学 |
| 7 資格取得 | 8 職業技能 | 9 パソコン |
| 10 地域活動 | 11 ボランティア | 12 子育て |
| 13 健康・食育 | 14 人権・道徳 | 15 自然・環境 |
| 16 社会 | 17 経済 | 18 法律 |
| 19 福祉 | 20 消費生活 | 21 国際関係 |
| 22. その他 () | | |

次は問3 4にお進みください。

問3 3 あなたが「学び」に取り組むとしたら、どのような目的で取り組んでみたいですか。
(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 趣味・楽しみのため | 2 資格取得などのため |
| 3 ボランティア活動のため | 4 仲間作りのため |
| 5 スポーツ・健康増進のため | 6 地域活動のため |
| 7 特に理由はない | 8 わからない |
| 9 その他 () | |

問33 - 1 あなたが「学び」に取り組まなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 動機・熱意が不足していたから | 2 身近な活動機会がなかったから |
| 3 身近な活動仲間がいなかったから | 4 身近な活動場所がなかったから |
| 5 経済的なゆとりがなかったから | 6 時間的なゆとりがなかったから |
| 7 必要な情報がなかったから | 8 家族や職場の理解がなかったから |
| 9 成果を活用する場がなかったから | 10 必要がなかったから |
| 11 その他 () | |

《全員の方が回答してください》

問34 あなたは、この1年間において、本（一般書籍・小説・専門書・雑誌など）を、1か月あたり平均して何冊ぐらい読みましたか。次の中から選んでください。(〇は1つ)

- | | | |
|---------|-----------------|--------|
| 1 10冊以上 | 2 9～6冊 | 3 5～3冊 |
| 4 2～1冊 | 5 読んでいない → 問37へ | |

問35 本を読む目的について、次の中からあなたの考えに一番近い項目を選んでください。(〇はいくつでも)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 調べものをするため | 2 趣味の世界を広げるため |
| 3 知識・教養を深めるため | 4 子どもに読み聞かせるため |
| 5 心を豊かにするため | 6 特にない |
| 7 わからない | |

問36 あなたは、読みたい本をどのようにして入手しますか。次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 書店・コンビニで購入 | 2 古本屋で購入 |
| 3 通信販売で購入 | 4 家族や友人から借りる |
| 5 羽村市図書館で借りる | 6 市外の図書館で借りる |
| 7 その他 () | |

問37 あなたがこの1年間に行ったスポーツ・運動の日数は、どのくらいですか。
次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 週に3日以上 | 2 週に2日以上 |
| 3 週に1日以上(1時間以上) | 4 週に1日以上(1時間未満) |
| 5 3か月に1~3回 | 6 1年に1~3回 |
| 7 全くしていない → 次ページへ | |
| 8 その他() | |

問38 あなたがスポーツや運動を行った理由としてあてはまるものを次の中から選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 健康維持・増進のため | 2 楽しみや気晴らしのため |
| 3 友人・仲間などとの交流のため | 4 運動不足を感じるから |
| 5 自己の記録を向上させるため | 6 訓練のため |
| 7 特に理由はない | |
| 8 その他() | |

問39 あなたがこの1年間に行ったスポーツ・運動の種目について、次の中から選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------------------|--|
| 1 ウォーキング・散歩 | |
| 2 体操(ラジオ体操・ストレッチ・ヨガ・エアロビクス・縄跳びなど) | |
| 3 ランニング・ジョギングなど | |
| 4 水泳 | |
| 5 球技(野球・サッカー・バレーボール・テニス・ゲートボールなど) | |
| 6 武道(柔道・剣道・空手道・弓道など) | |
| 7 その他(具体的に:) | |

＜最後に、あなたご自身のことについておたずねします＞

次のF 1～F 8までの質問は、アンケートを分析するために必要ですので、必ずご記入ください。

F 1 あなたの性別をお伺いします。（○は1つ）

1	2
男	女

F 2 あなたの年齢をお伺いします。（○は1つ）

1	2	3	4	5	6	7
18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上

F 3 あなたは結婚していますか。（○は1つ）

1	2
結婚している	結婚していない

F 4 あなたの職業（2つ以上の職業をお持ちのかたは主な方）をお答えください。
（○は1つ）

1 農林漁業	} 自 家 族 従 業 者 ・
2 商工サービス業（工場、商店などの個人経営）	
3 自由業（開業医、弁護士、作家、僧侶、塾の経営者など）	
4 管理職（会社、官公庁、団体の課長以上）	} 勤 め 人
5 事務職・専門技術職（事務員、教員、研究員、病院勤務医師など）	
6 技能職・労務職（店員、工員、外交員、運転手など）	
7 学 生	} 無 職
8 主 婦	
9 その他の無職	

(F 5へ)

F 4-1 あなたの通勤地、通学地についてお伺いします。（○は1つ）

1	2	3	4	5
自 宅	羽村市内	都内市町村	都内23区内	他 県

《全員の方が回答してください》

F 5 あなたを含めたお宅の家族人数をお伺いします。（○は1つ）

1	2	3	4	5	6
1人	2人	3人	4人	5人	6人以上

F 7 あなたの住まいをお伺いします。(○は1つ)

- 1 持家(一戸建)
- 2 持家(分譲マンション)
- 3 公営(都、市、公団)の賃貸住宅
- 4 借家(一戸建)
- 5 民営アパート、マンション
- 6 社宅、寮、公務員住宅
- 7 間借り
- 8 その他(具体的に:)

F 8 あなたの住まいは、どちらですか。(○は1つ)

- 1 神明台1～4丁目
- 2 双葉町1～3丁目
- 3 五ノ神1～4丁目
- 4 富士見平1～3丁目・羽4131～4184・五ノ神番地
- 5 緑ヶ丘1～5丁目
- 6 栄町1～3丁目
- 7 小作台1～5丁目
- 8 羽西1～3丁目
- 9 羽加美1～4丁目
- 10 羽中1～4丁目
- 11 羽東1～3丁目
- 12 川崎1～4丁目
- 13 玉川1～2丁目・羽690～744

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒にて9月7日(月)までにご投函ください。

羽村市市政世論調査報告書

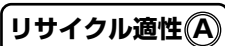
平成28年1月

発行／羽村市企画総務部広報広聴課

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5丁目2番地1

電話 042-555-1111（代表）

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



古紙配合率80%再生紙を使用しています